

III

市民自治基礎学習事業の概要



麻生市民館 家庭・地域教育学級

Ⅲ 市民自治基礎学習事業の概要

1 普遍的課題学習活動

平和・人権、環境や女性問題など、現代社会において市民生活を営む上で、年齢や性別にかかわらず、普遍的な課題として学習機会を提供することにより、市民意識の啓発や共に生きる地域社会の形成に必要な力を養うことを目的として開設した。

(1) 平和・人権学習

日本国憲法、教育基本法の理念に基づき、世界の平和および人権の尊重に関する学習機会を提供し、共に生きる地域社会の創造をめざすことを目的として開設。

1985（昭和60）年度から開設し、当初は平和に関する学級と人権に関する学級を別々に開設していたが、平和と人権の問題が不可分であることが意識化され、1992（平成4）年度から両者を統合し、平和・人権尊重学級として開設されるようになった。

最近の事業の特徴的傾向としては、国際社会が複雑化し、新しい平和のあり方が求められている中、平和学習が目立ち、人権学習ではインターネットや外国人の学習権などを取り上げるものがあった。

(2) 男女平等推進学習

性別役割分業の払拭や女性の地位向上など、性による差別や人権に関する問題解決に向けた学習機会を提供し、男女共同参画社会の実現及び共に生きる地域社会の創造をめざすことを目的として開設してきた。

1992（平成4）年度からそれまでの「婦人学級」から「女性学級」へと名称が変更され、2003（平成15）年度からは女性の課題から男女が共に学び合う学習へと転換を図ることで男女共同参画社会の実現をめざす必要性から「男女平等推進学習」へと事業名を変更した。ここ数年の傾向として、「ジェンダーフリー」の視点から夫婦や男女関係のあり方を学んでいく学級が増えてきていたが、最近では、男女を幅広く捉えながら、テーマ設定や題材選択の上での工夫が進み、一歩踏み込んだ学習プログラムの編成が行なわれた。

さらにいくつかの市民館では、市民参画の企画委員会を設置して、企画内容等が検討されている。

2 子育て・共育学習活動

子育て期に必要な諸課題に関して、継続的な学習の課題に内容を編成して事業を実施した。学習課題としては、個々の家庭や親子関係が直面する事柄に内在する問題とともに、次の世代を生み育てるために親（市民）として避けては通れないと思われる問題のほか、最近では、親と子どもを取り巻く環境の著しい変化に伴う新たな課題の解決をめざす方向にある。また、ワークショップなどさまざまな参加型学習形態を取り入れ、親（市民）同士の学び合いと新しいつながりづくりの中で進むように企画運営している。

(1) 家庭・地域教育学級

子どもを豊かに育む地域社会を創造するために、子育てに関する家庭・地域課題の学習機会を提供し、家庭教育の充実をめざす事業として、教文・市民館・分館で24学級を実施した。

(2) 市民館保育活動

幼い子をもつ親の学習機会を保障するために主催事業に同伴幼児の保育を併設し、地域で支え合う子育て環境の醸成をめざす事業として、全館で実施した。保育併設は1950（昭和30）年代から婦人学級や生活学校などにおいて学習者相互の輪番制によって始められた。以降、保育対象事業は市民要望に沿って拡大され、現在では家庭・地域教育学級、男女平等推進学習、識字学習活動、市民自主学級・市民自主企画事業などで実施されている。

(3) 保育ボランティア研修

市民館保育の担い手である保育ボランティアの養成及び資質向上を図る事業として実施された。

3 家庭教育推進事業

子どもを取り巻く地域社会の環境は大きく変化し続けており、子どもの理解、親子のコミュニケーションの取り方、大人としての地域のかかわり等について、地域と連携しながら身近な場において支援を行うことを目的として、本事業を実施している。

(1) 各区家庭教育推進協議会

推進協議会では、家庭・学校・地域の連携を前提に、PTA等家庭教育学級、自主グループ家庭教育学級等の円滑な遂行を確保することを目的として、協議・情報交換等を行った。

(2) P T A等家庭教育学級

子どもを取り巻く環境は急激に変化しつつあり、家庭教育をめぐる諸課題の解決は急務となっている。このことに対し、PTAとの協働により、身近な地域における家庭教育に関する学習機会を幅広く提供することとし、実りある学級づくりや実施に向け、講師派遣、説明会、相談対応等を行った。

(3) 自主グループ家庭教育学級

地域の子育てや家庭教育に携わる自主グループ等の企画・立案により実施する本学級の開設に向け、プログラムの立案や講師選定に関する相談対応等様々な支援を行っており、今年度は教育文化会館において支援を行った。

(4) 家庭教育支援チーム

家庭教育支援のあり方について、家庭教育支援チームを結成し、協議を行った。

(5) 子育て支援啓発事業

核家族化等により家庭教育に関する情報を得にくくなっている子育て中の親子に向けた情報交換や仲間づくりの機会提供等を目的とした子育て広場の実施や情報誌作成等に向けて、各市民館において助言や会場確保等様々な支援を行った。

Ⅲ 1 (1) 平和・人権学習

教文 平和・人権学習 (1)

タイトル：共に生きる地域社会をめざして

主 題：外国人市民の学習権・言語保障を考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1 10	5・19 7・21	水	学習権と言語権の保障について考える	日本語レベルがビギナーまた中上級の外国人市民、また日本人市民も参加し、日本語学習支援の実践を通して、人権や言語保障について考える	神奈川大学大学院国語学研究科 門馬 真帆 飛鳥学院非常勤講師 小田 ひとは
11	7・28	水	異なる文化を持つ人が日本語を学ぶ意義や外国人市民の人権尊重における課題を考える	外国人市民の人権問題の背景と言語保障の実践を通して見えてきたものとは	企画委員 職員
12	8・4	水		まとめ、振り返り ～定住外国人との共生について考える	

- 開設場所 教育文化会館 ●時間帯 主に 19:00～21:00
- 対象 市内在住・在勤・在学の外国人市民及び関心のある方
- 参加者数 20人(男6人、女14人) ●延べ人数 116人

教文 平和・人権学習 (2)

主 題：戦争遺跡・資料館等の見学を通して、平和について考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・13	土	戦争遺跡・資料館見学や戦時下の女性の人権について学ぶことを通して、戦争がいかに悲惨で人権を侵害するものであるかを学び、平和のうちに生きていく権利を守るためには何をすべきか考えていく	平和・人権教育と戦争資料館の役割	立正大学 名誉教授 藤田 秀雄
2	20	土		旧日本陸軍「登戸研究所資料館」見学	明治大学 講師 渡辺 賢二
3	27	土		「しょうけい館(戦傷病者史料館)」見学	しょうけい館 学芸課長 木龍 克己
4	12・4	土		「東京都立第五福竜丸展示館」見学	展示館ボランティア
5	11	土		「女たちの戦争と平和資料館」見学	資料館職員
6	18	土		与謝野晶子の生き方を通して女性の人権と戦争を考える	女性思想史研究家 山本 知恵
7	1・15	土		日本の歴史教育の現状について学ぶ	渡辺 賢二

- 開設場所 教育文化会館 他 ●時間帯 主に 10:00～12:00
- 対象 市内在住・在勤・在学の方 ●参加者数 23人(男13人、女10人)
- 延べ人数 87人

幸 平和・人権学習 (1)

タイトル：夏休み平和映画会

主 題：戦時を知ることにより平和への認識を深める

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	8・6	金	戦争体験に触れ、平和についての学習を深める	映画「はだしのゲン」の上映 太平洋戦争当時の写真展示	職員 さいわい歴史の会

- 開設場所 幸市民館 ●時間帯 14:00～15:30
- 対象 関心のある方 ●参加者数 80人(男55人、女25人)
- 企画委員会 1回 ●企画委員 1人

幸 平和・人権学習（２）

タイトル：「インターネット被害」から子どもを守るには

主 題：インターネットにおける人権侵害から子どもを守る

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・27	木	学級への理解を深め、 お互いを知り合う	オリエンテーション・自己紹介 保育説明	職員 幸保育学習会
2	2・3	木	インターネットにおけ る人権侵害の実態を 知り、対策について 学ぶ	いま、起きているサイバー犯罪とは？	神奈川県警察本部 サイバー犯罪対策センター 刃野 智喜
3	10	木		個人情報を悪用されないために	株式会社情報文化総合研究所 佐藤 佳弘
4	17	木		子どもの“画像流出”について考えよう	神奈川県警察本部 少年捜査課 荒川 徹朗
5	24	木		子どもを“ネットいじめ”から守ろう①	川崎市教育委員会 インターネット問題相談窓口 担当 奥田 義雄
6	3・3	木		子どもを“ネットいじめ”から守ろう②	全国webカウンセリング協議会 理事長 安川 雅史
7	10	木		子どもたちを取り巻く インターネットの健全 な環境づくりを考える	子どもが安心して使えるコミュニティサイトとは
8	17	木	子どもを守るために 家庭や地域でできる ことを考える	親や大人ができること・そして人権とは *震災のため中止	総務部 人権・共生教育担当 担当課長 鈴木 信一郎

●開設場所 幸市民館

●対 象 関心のある方

●企画委員会 1回

●保育内容 自由遊び

●保 育 者 幸保育学習会

●時 間 帯 10:00～12:00

●参加者数 24人(男3人、女21人)

●企画委員 1人

●保育参加者数 2人(男1人、女1人)

●延べ人数 71人

中原 平和・人権学習

タイトル：なかはら平和セミナー

主 題：アジアとの共生のために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・13	水	アジアと共生し、平和で戦争のない世界を実現するために何をしなければならないのか、平和の尊さを次世代にどのように伝えていけばよいかを考える	歴史教科書から考えるアジアとの共生	子どもと教科書全国ネット21事務局長 俵 義文
2	27	水		基地問題と沖縄県民の「声」	琉球大学 名誉教授 高嶋 伸欣
3	11・10	水		日米安保条約とアジアの平和	国際政治学者 畑田 重夫
4	24	水		核廃絶は可能か ～ビキニ事件からプラハ演説まで	第五福竜丸元乗組員 大石 又七
5	27	土		厚木基地と市民の暮らし ～厚木基地周辺のフィールドワーク	厚木基地爆音防止期成同盟書記長 大波 修二
6	1・13	木		アジアの平和と歴史学習① 中国では歴史がどう教えられているか	明治大学 兼任講師 齋藤 一晴
7	26	水		アジアの平和と歴史学習② 韓国では歴史がどう教えられているか	日本福祉大学 特任教授 三橋 広夫
8	2・9	水		アジアの平和と歴史学習③ 東南アジアでは歴史がどう教えられているか	高嶋 伸欣
9	20	日		<ワークショップ> 学校で使われている教科書を読み、平和をどのように子どもたちに伝えていけばよいかを考える *3月12日は震災のため中止	白鳥中学校 教諭 大泉 雄彦
10	3・12	土			
11	16	水		学習のふりかえり *震災のため中止	

●開設場所 中原市民館 他

●対 象 関心のある方

●企画委員会 8回

●時 間 帯 18:30～20:30 (⑨⑩ 13:30～16:00)

●参加者数 57人(男36人、女21人)

●企画委員 12人

●延べ人数 289人

高津 平和・人権学習(1)

タイトル：格差・貧困社会に生きる私たち

主 題：若者が希望を持てる世の中となるにはどのようにしたら良いのか

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・9	火	野宿者を通じて貧困問題について考える	ホームレスのドキュメンタリー映画「あしがらさん」観賞と監督・講師の対談	映画監督 飯田 基晴 ルポライター 北村 年子
2	27	土	現代の貧困の存在について、さまざまな角度から考察し、それが私たちの生活におよぼす影響に気付く	現代の貧困問題①母子家庭・父子家庭の貧困について知る	全国父子連絡会 理事 村上 よしのぶ
3	12・1	水		現代の貧困問題②子どもの教育現場での貧困について知る	明治大学・埼玉大学 講師 青砥 恭
4	7	火		現代の貧困問題③生活保護の現場における貧困の実態	元横浜市役所生活保護ケースワーカー 小山 ユウ子
5	14	火		現代の貧困問題④報道の現場から見た貧困について知る	毎日新聞社会部記者 東海林 智
6	21	火		ひとりひとりができることについて考える	学習内容をふりかえり、これから自分たちにできることについて話し合う

●開設場所 高津市民館

●対 象 関心のある方

●企画委員会 4回

●時 間 帯 18:30～20:30

●参加者数 32人(男16人、女16人)

●企画委員 2人

●延べ人数 66人

高津 平和・人権学習（２）

タイトル：あなたの「居場所」は本当にありますか？

主 題：外国人教育、児童虐待、心の病と共に生きる人、DV被害者支援

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・15	土	外国人市民の教育上の課題、児童虐待防止、心の病と共に生きる人の地域での生活、DV被害者の支援などから、地域での共生を考える	外国につながりを持つ子どもたちの教育上の課題と教育環境の充実	あーすぷらざ 外国人教育相談 コーディネーター 加藤 佳代
2	23	日		児童虐待の原因を探り、その防止のための家庭の重要性を確認する	日本子守唄協会 理事長 西館 好子
3	30	日		外国につながりを持つ子どもたちの高校進学、就職などの課題を考える	法政大学大学院 教授 宮島 喬
4	2・13	日		心の病と共に生きる人たちが伝えてくれること～“私”にできること～	生活支援センター まんまる 相談員 高松 信
5	27	日		移住外国人DV被害者の自立を目指した活動から学ぶ	カラカサン 支援者 岩田 真梨子

●開設場所 高津市民館

●時 間 帯 13:30～16:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 30人(男8人、女22人)

●延べ人数 48人

●企画委員会 4回

●企画委員 5人

宮前 平和・人権学習

タイトル：東アジアにみる平和・人権～東アジア現代史を見つめて～

主 題：「平和」と「人権」について、東アジアを通して考察する

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・2	土	人権とは、何か？	人権最新事情を知り、平和について考える	アムネスティ・インターナショナル 日本 事務局長 山田 太郎
2	9	土	日韓における人権の課題について考察していく	日本の韓国併合の歴史について	上智大学文学部 教授 長田 彰文
3	16	土		在日韓国人の人権問題について考える	首都大学東京人文科学研究科 教授 鄭 大均
4	23	土	日本の人権について考える	同和問題について考える	静岡大学教育学部 教授 黒川 みどり
5	30	土		アイヌの人権について考察する	財団法人アイヌ文化振興・ 研究推進機構委託アドバイザー 宇梶 静江
6	11・6	土	日中現代史から平和と人権について考える	「人権と平和」を考えるための日中現代史①(1911年辛亥革命～1945年)	東京外国語大学 総合国際学研究院 教授 佐藤 公彦
7	20	土	平和の尊さを想い、人権尊重を思う	登戸研究所を訪問し、平和の尊さを考察する	明治大学文学部 教授 山田 朗
8	12・11	土	日中現代史を通じ、平和と人権について考える	「人権と平和」を考えるための日中現代史②(1945年～現在まで)	横浜市立大学 名誉教授 矢吹 晋
9	18	土	日中における人権の課題について平和尊重の観点から考察する	中国における人権問題について考察する	都留文科大学 名誉教授 笠原 十九司
10	1・15	土		台湾における人権問題について考察する	東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻 准教授 川島 真
11	29	土	講座をふりかえって話し合い理解を深める	講座全体をふりかえって～今回学んだこと、平和・人権について話し合いをする～	企画委員

●開設場所 宮前市民館 他

●時 間 帯 14:00～16:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 35人(男20人、女15人)

●延べ人数 220人

●企画委員会 8回

●企画委員 3人

多摩 平和・人権学習（１）

タイトル：都市に生きる男と女の人間学

主 題：男性と女性の人権と権利の問題から、これからの社会について考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・ 8	金	お互いを知る 女性の権利の変遷に ついて学ぶ	オリエンテーション 女性の権利を振り返る	敬和学園大学 特任教授 加納 実紀代
2	22	金	現在の男性・女性の 権利について生じて いる問題を学ぶ。 現代社会の中で生じ ている貧困などの人 権問題について具体 的に活動している事 例を研究する	「男性学」の新展開 ～「男性問題」を考える～	学習院大学 講師 田中 俊之
3	11・ 19	金		現代都市の男と女① ～行動する人たち～	(有)ビッグイシュー日本 東京事務所マネージャー 佐野 未来
4	26	金		都市と女性の社会学	国立女性教育会館 専門職員 石崎 裕子
5	12・ 3	金		現代都市の男と女② ～少子化と子育て支援～	NPO法人びーのびーの 事務局長 原 美紀
6	17	金		学級を振り返って（まとめ）	職員

●開設場所 多摩市民館

●時 間 帯 18:30～20:30

●対 象 15歳以上の関心のある方 30名

●参加者数 29人(男7人、女22人) ●延べ人数 50人

●企画委員会 4回

●企画委員 3人

多摩 平和・人権学習（２）

タイトル：“草食系男子”の生きる時代

主 題：“草食系男子”という言葉をもとにして、現代の人権や権利について学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12・ 4	土	“草食系男子”という 言葉をキーワードにし て、男女共同参画社 会の現在や、現代社 会における男性と女 性の関係や格差問題 などを学び、これか らの社会における男 女の人権意識の違い や新しい家族の中の 人間関係について考 えるきっかけとする	オリエンテーション 男女共同参画社会の現在と“草食系男子”	男女共同参画センターすくら む21 館長 鈴木 悦子
2	11	土	人権意識の向上に向 けて自分たちができ ることを考える	“草食系男子”が日本を変える!?	マーケティングライター 牛窪 恵
3	1・ 8	土		草食系男子と格差社会 ～“草食系男子”をめぐる①～	十文字学園女子大学 准教授 大友 由紀子
4	22	土		自分と社会、男と女 ～“草食系男子”をめぐる②～	明治大学 准教授 平川 景子
5	2・ 5	土		格差・貧困を乗り越えるヒント ～“草食系男子”をめぐる③～	NPO法人 自立生活サポートセンターもやい スタッフ 富樫 匡孝
6	19	土		これまでの学習を振り返り、これからの社会に向 けてできることについて、話し合う	職員

●開設場所 多摩市民館

●時 間 帯 18:30～20:30

●対 象 関心のある方 30名

●参加者数 19人(男7人、女12人)

●延べ人数 44人

●企画委員会 4回

●企画委員 3人

麻生 平和・人権学習（１）

タイトル：子どもの虐待を考えよう

主 題：児童虐待の問題に対する地域のあり方

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・14	金	子どもの権利侵害である児童虐待の早期発見対応、防止に向けた関心と意識を高める	虐待の現状と子どもの権利	南部児童相談所 相談指導係長 保科 健
2	21	金		愛着とトラウマについて —虐待の乳幼児に与える影響—	相州乳幼児家族心療センター センター長 青木 豊
3	28	金		相談者の気持ち —相談の現場から考える—	子どもの虐待防止センター 専任相談員 菅江 佳子
4	2・4	金		児童養護施設の生活と支援	児童養護施設川崎愛児園 心理士 荒木 登紀子
5	18	金		STOP!子どもの虐待 —防止と支援～私たちにできること	子ども虐待ネグレクト防止 ネットワーク 理事長 山田 不二子

●開設場所 麻生市民館

●対 象 関心のある方

●保育内容 自由遊び

●時 間 帯 10:00～12:00

●参加者数 49人(男9人、女40人)

●保育参加者数 6人(男3人、女3人)

●延べ人数 167人

●保 育 者 ジャンケンポン

麻生 平和・人権学習（２）

タイトル：学び・交流する～基礎から読みとく憲法講座

主 題：日本国憲法を基礎からわかりやすく学習する

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・8	火	国の最高法規である日本国憲法を基礎から学習し、基本的人権の尊重、国民主権による統治の仕組みや世界平和の尊さについての理解をはかる。参加者同士が話しやすく、身近な暮らしや制度と憲法との関わりについて学習する	今、なぜ憲法か？ ～日本国憲法を学ぶことの意義	一橋大学 名誉教授 杉原 泰雄
2	15	火		憲法の基本原理 I 個人の尊重、基本的人権について	三多摩法律事務所 弁護士 小林 克信
3	22	火		憲法の基本原理 II 国民主権による統治の仕組み①②	
4	3・1	火		憲法の基本原理 III 平和主義と今後の活用について	未来市民法律事務所所長 弁護士 中村 裕二
5	8	火			

●開設場所 麻生市民館

●対 象 関心のある方

●企画委員会 5回

●時 間 帯 18:30～20:30

●参加者数 50人(男30人、女20人)

●企画委員 7人

●延べ人数 191人

Ⅲ 1 (2) 男女平等推進学習

教文 男女平等推進学習

主 題：自分らしい社会参画を見つけよう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・21	木	女性が社会でチャレンジしたいのに、なかなか第一歩を踏み出せない、こうした女性の元気、やる気を引き出すために、女性を取り巻く様々な課題に対する学習をして、女性の社会参画を高めると共に、男性も共に学ぶ事で女性の社会参画を支援していく関係の構築をめざす	「ワーク・ライフ・バランス」についての基礎知識や社会的取組について	男女共同参画センター館長 鈴木 悦子
2	28	木		イマドキの再就職事情について学ぼう	産業カウンセラー 岡 智子
3	11・4	木		女性と仕事の未来館(視察見学)	女性と仕事の未来館職員
4	11	木		女性に係る労働法の基礎知識&改正労働基準法のポイント	弁護士 岸 松江
5	18	木		年金や健康保険の疑問	社会保険労務士 大矢 さよ子
6	25	木		映画「赤い鯨と白い蛇」を見る	i&iコミュニケーション・ラボ代表 森山 貴代
7	12・2	木		仕事と家庭の両立をめざして	港区立男女平等参画センター館長 横井 真智子
8	9	木		私らしい働き方を見つけよう	鈴木 悦子

●開設場所 教育文化会館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 6人(男0人、女6人)

●延べ人数 35人

幸 男女平等推進学習(1)

タイトル：女性のワークライフバランスを考える

主 題：これからの女性の生き方・働き方を見つめなおす

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・16	土	厳しさを増す労働環境の中で、女性の視点からワークライフバランスを考える	ワークライフバランスを仕事と生活の両面から見つめ直す	i&iコミュニケーション・ラボ 森山 貴代
2	23	土		ワークライフバランスについて体験談も含めて実践方法を学ぶ	(株)ワークライフバランス 高安 千穂
3	30	土		ワークライフバランス実践に向けて法知識やサポート体制を知ろう	弁護士 三木 恵美子
4	11・7	日		北欧の事例から女性がどう地域で生き、働いているのかを学ぶ	東洋大学教授 今村 肇
5	13	土		講座を振り返り、自分らしく生きるためにどうすべきかを話し合う	森山 貴代

●開設場所 幸市民館

●時間帯 13:30～15:30

●対象 関心のある方

●参加者数 15人(男0人、女15人)

●延べ人数 47人

●企画委員会 2回

●企画委員 2人

幸 男女平等推進学習（２）

タイトル：さいわいパパ活入門

主 題：いざ実践！ワークライフバランス

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・23	日	ワークライフバランスや男性の地域活動について考えることで、仕事・地域の調和を図り、性別役割分業を払拭していく	自分の仕事と家庭の状況をワールドカフェ方式で振り返る【公開講座】	(株)ソーラーレ代表 東 浩司
2	30	日		「子どもと一緒に夕ご飯」を目標に早帰り実践のコツを学ぶ	(株)ワークライフバランス 高安 千穂
3	2・6	日		オトコの料理教室 ～栄養バランスの取れた食事作りとは～	料理研究家 米井 智子
4	19	土		ヨーロッパの男性はどう生き・働いているのか。日本人の殻を脱ぎ捨てる	東洋大学 教授 今村 肇
5	26	土		地域の子育てに触れる。みんなで「子育てフェアさいわい」に参加しよう	職員

●開設場所 幸市民館

●対 象 関心のある方

●企画委員会 2回

●保育内容 自由遊び

●保 育 者 幸保育学習会

●時 間 帯 10:00～12:00

●参加者数 17人(男12人、女5人)

●企画委員 3人

●保育参加者数 3人(男1人、女2人)

●延べ人数 57人

中原 男女平等推進学習（１）

タイトル：わたしをブランディングセミナー

主 題：自分らしく輝いて生きるために自分を表現する力を身につけよう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・7	木	あらゆる場において一人一人が多様な価値を持つ素晴らしい存在であることを男女がともに理解し双方が輝くための生き方を女性の生き方を探るなかで学ぶ。さらに日常生活を省み男女がともに参画できる社会を目指す	女性とキャリア	CDA(キャリア・デベロップメント・アドバイザー) 岡 智子
2	21	木		アサーショントレーニング 自信を持って自分を表現しよう	ヒューマンスキル開発センター 刀根 健
3	11・4	木		世界の女性たち	米倉 眞理、劉 陸
4	18	木		輝くためのブランディング	日本ナレッジマネジメント 学会多様性研究部会部会長 澤谷 みち子
5	12・2	木		女性のための自分でできるカウンセリング	フェミニストカウンセリング 東京 理事 海渡 捷子

●開設場所 中原市民館

●対 象 子育て中の20～30歳代の女性・関心のある方

●参加者数 18人(男0人、女18人)

●企画委員会 4回

●保育内容 自由遊び

●保 育 者 ぽかぽか

●時 間 帯 10:00～12:00

●延べ人数 59人

●企画委員 3人

●保育参加者数 5人(男5人、女0人)

中原 男女平等推進学習（２）

タイトル：ライフプランニングセミナー

主 題：夢の自己発見・自己実現のため「いま」の自分を省み未来を展望してみよう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・5	土		いまのわたし～「不安」や「悩み」を抽出し現在の自分を知る	ライフ・ポートフォリオ 前原 はづき 企画委員 職員
2	19	土	男女がともに自立して仕事も暮らしも充実した生き方をするため、また夢の自己発見・自己実現のために現状を把握し、さらに問題点を抽出し未来を展望する	仕事づくりと家庭づくり ライフプランの背景づくり	
3	3・5	土		夢の自己発見・自己実現 未来予想図を描く。 自分の魅力を探り自分を知る	
4	19	土		夢実現のための第一歩 これからの自分の目標と行動を考える *震災のため中止	
5	26	土		まとめ・振り返り～学んだこと・気付いたこと・これから・・・ *震災のため中止	

- 開設場所 中原市民館
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 子育て中の20～30歳代の女性及び関心のある方
- 参加者数 16人(男0人、女16人)
- 延べ人数 41人
- 企画委員会 3回
- 企画委員 3人
- 保育内容 自由遊び
- 保育参加者数 6人(男5人、女1人)
- 保 育 者 有志によるボランティア

高津 男女平等推進学習（１）

タイトル：働きMamaの学びCafe

主 題：すべてのママに贈る学びの講座

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・18	土		【講演会・公開講座】「子育てでも仕事も、ともに楽しもう！」	(株)マザーネット 代表 上田 理恵子
2	25	土	家庭や職場で男女が協力して、仕事と子育て・家事を両立できる具体的な方法を学ぶ	自分らしい働き方① 職場と家庭で、対人関係や物事が円滑に進むようにコミュニケーション術を学ぶ	男女共同参画センター 職員
3	10・2	土		自分らしい働き方② 時間の効率的な使い方を学び、日々の生活に余裕を持つ	(株)グローバル・シフト・コミュニケーション 彦田 美香子
4	9	土		働くママのマネー管理術・家計の出費と自分の将来設計について考える	ファイナンシャルプランナー 成田 祥子
5	17	日		働くママの健康管理術・女性特有の病気の知識を得ることによって自分の体に対する理解を深める	コスモス女性クリニック 院長 野末 悦子
6 7	24	日		仕事、家庭、育児でのストレス解消法を学ぶ	働くママとメンタルヘルス①②・職場や家庭で増える精神疾患について学ぶ。また、受講者同士で悩みやストレスを共有し、ネットワーク作りを支援する

- 開設場所 高津市民館 他
- 時 間 帯 主に10:00～12:00
- 対 象 働きながら子育て中の女性、その配偶者、関心のある方
- 参加者数 29人(男0人、女29人)
- 延べ人数 101人
- 保育内容 自由遊び
- 保育参加者数 11人(男8人、女3人)
- 保 育 者 市民館登録ボランティア

高津 男女平等推進学習（２）

タイトル：男と女のハラスメント講座

主 題：これでいいのか男と女。よりよい人間関係のために…

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・16	水	ハラスメントの実態について学び、家庭や職場で男女が互いを尊重し、気持ちよく過ごせる環境について考える	ハラスメント全般について学ぶ	男女共同参画センター 職員
2	23	水		家庭や地域で発生しやすいハラスメントについて被害者の視点から学ぶ	作家・評論家 熊谷 早智子
3	3・2	水		家庭で発生したハラスメントについて、法的解決手段などを専門的視点から学ぶ	川崎合同法律事務所 弁護士 三嶋 健
4	9	水		“付き合いにくい人”に出会った時に、自分が傷つけないためのメンタルトレーニングについて学ぶ	(株)フォーカスマネジメント 代表 石井 亘

●開設場所 高津市民館 他

●時間帯 主に18:45～20:45

●対 象 関心のある方

●参加者数 26人(男3人、女23人)

●延べ人数 52人

宮前 男女平等推進学習

タイトル：社会の荒波で沈まないために～輝く自分をイメージしよう～

主 題：女性が自分らしく生き、活躍するために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・18	火	現代社会の中で、女性の置かれている状況を理解する	女性と法律	日本大学 教授 神尾 真知子
2	25	火		ジェンダーについて	聖心女子大学 准教授 大槻 奈巳
3	2・1	火		女性を取り巻く争議① ～労働組合に聞く～	川崎市職員労働組合 副委員長 萩原 周子
4	8	火		女性を取り巻く争議② ～民間支援者に聞く～	NPO法人 かながわ女の スペースみずら 理事 菊谷 秀子
5	15	火		女性を取り巻く争議③ ～弁護士に聞く～	藤原朋奈法律事務所 弁護士 藤原 朋奈
6	22	火	これからの社会で、女性が活躍し、自分らしく生きるためのヒントを学ぶ	輝く女性①	読売新聞東京本社広告局企 画開発部 記者 正本 恭子
7	3・1	火		輝く女性②	株式会社ベアーズ 専務取締役 高橋 ゆき
8	8	火		女性の体について ～NOと言えるSEX～	聖マリアンナ医科大学産婦人科 医長 西ヶ谷 順子
9	15	火	“学ぶ”ということを理解し、得た様々な情報やヒントの活用を知る	女性と学習 まとめ	洗足こども短期大学 教授 野口 眞代

●開設場所 宮前市民館

●時間帯 19:00～21:00

●対 象 これから社会人になる方および関心のある方 20名

●参加者数 9人(男1人、女8人)

●延べ人数 45人

多摩 男女平等推進学習

タイトル：未来の自分プロデュース2

主 題：ワークライフバランスについて理解を深め、将来像を描く

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12・12	日	心身の充実を図る①	あなたの笑顔でみんなが笑顔	スマイル ワン 代表 大槻 笑子
2	19	日	多様な生き方を学ぶ①	人生はチャレンジ	コミュニティーカフェ はびくす
3	1・16	日	ワークライフバランスについて学ぶ①	ワークライフバランスとは	内閣府男女共同参画局 課長補佐 西山 春夫
4	23	日	多様な生き方を学ぶ②	介護する夫のワークライフバランス	ライター 原 雅道
5	30	日	ワークライフバランスについて学ぶ②	24時間働く時代からの転換	東レ経営研究所 ダイバーシティー&ワークライフバランス 経営研究部 部長 渥美 由喜
6	2・6	日	心身の充実を図る②	新たな自分を発見	インプロ ジャパン
7	13	日	将来の自分のためにできることを学ぶ①	片付けとワークライフバランスの関係	スッキリ・ラボ 代表 小松 易
8	20	日	ワークライフバランスについて学ぶ③	ワークライフバランスと家族	日本女子大学 准教授 永井 暁子
9	27	日	将来の自分のためにできることを学ぶ②	私の未来宣言	i&iコミュニケーション・ラボ 代表 森山 貴代
10	3・6	日	振り返り	私のあなたのワークライフバランス	職員

- 開設場所 多摩市民館
- 対 象 関心のある方
- 企画委員会 3回
- 保育参加者数 5人(男2人、女3人)
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 参加者数 39人(男5人、女34人)
- 企画委員 3人
- 保 育 者 多摩保育グループ
- 延べ人数 233人
- 保育内容 自由遊び

麻生 男女平等推進学習(1)

タイトル：現代家族の問題点

主 題：「家庭」を舞台に家族間で何が起こっているのかを知る

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・5	金	「家庭」を舞台に家族間で何が起こっているのかを知り一人一人の人権が尊重され男女が対等なパートナーとして歩むためには何が必要かを考え男女平等の意識を高める	「現代家族」の問題点	日本女子大学 講師 和泉 広恵
2	12	金		家庭内の「男のストレス」「女のストレス」	産業カウンセラー 前田 美香
3	19	金		家庭で期待される「男性像」「女性像」の問題点	大妻女子大学 教授 大出 春江
4	26	金		なぜ暴力をえらぶのか(DV)	川崎市精神保健福祉センター 所長 伊藤 真人
5	12・3	金		笑顔いっぱい家庭を築く ～傾聴法を学ぶ～	スマイル・ワン代表 笑顔研修講師 大槻 笑子

- 開設場所 麻生市民館
- 対 象 関心のある方
- 保育内容 自由あそび
- 保 育 者 ジャンケンポン
- 時 間 帯 13:30～15:30
- 参加者数 46人(男16人、女30人)
- 保育参加者数 2人(男1人、女1人)
- 延べ人数 139人

麻生 男女平等推進学習（2）

タイトル：「婚活」の時代 part 2～自分で人生の一步を切り開く～

主 題：自分の人生を自分の価値観をもって切り開く

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12・10	金	自分の結婚（婚活）観を見つめる	婚活と就活～この似て非なるもの～	専修大学キャリアデザインセンター 講師兼カウンセラー 池田 喜望
2	17	金	コミュニケーションの大切さを知る	心が通じあうコミュニケーション・ワークショップ	米国CTI認定 プロフェッショナルコーチ 埴 博臣
3	1・7	金	メディアを批判的に見る方法を習得する	「婚活」をめぐるメディアの目～メディアを読み解く～	東京女子大学大学院、 (株)テレビマンユニオン プロデューサー 花野 泰子
4	14	金	少子化問題について考える	少子化問題への対策は～少子化問題を整理しよう～	国立社会保障・人口問題研究所 人口動向研究部第1室長 佐々井 司
5	28	金	家族の未来像から、自分の未来を考える	新しい家族の男と女のありよう～多様化する家族の形と未婚者～	日本女子大学 准教授 永井 暁子

●開設場所 麻生市民館

●時 間 帯 19:00 ～ 20:30

●対 象 関心のある方

●参加者数 31人（男12人、女19人）

●延べ人数 71人

Ⅲ 2 (1) 家庭・地域教育学級

教文 家庭・地域教育学級 (1)

主 題：子どもの成長に気づいていますか～乳幼児編～

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・ 2	金	乳幼児の年齢による特徴の違いを学ぶ	乳幼児の年齢による特徴を学ぶ	臨床心理士 菅野 陽子
2	9	金		年齢に関わらず人との関わりが出来てくることを学ぶ	
3	16	金		年齢により遊びに違いが出てくることを学ぶ	川崎区役所子ども支援室 職員
4	23	金		個性の意味を学ぶ	帝京大学 教授 杉本 真理子
5	27	火		振り返り	職員

- 開設場所 教育文化会館
- 対 象 関心のある方
- 保育内容 自由遊び
- 保 育 者 ポピンズ
- 時 間 帯 10:00 ～ 12:00
- 参加者数 10人(男0人、女10人)
- 保育参加者数 5人(男3人、女2人)
- 延べ人数 33人

教文 家庭・地域教育学級 (2)

主 題：「ゆとり」のある子育てを学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・ 13	木	楽しく子育てをする基本の一つは親がゆとりを持って子育てをすることである	参加者同士の仲間づくり	NPJ認定ファシリテーター 伊東 弘子
2	20	木		子育てについての話し合い	
3	27	木		親子のスキンシップの大切さを学ぶ	大島保育園 職員
4	2・ 3	木		親子のスキンシップの大切さを学ぶ	東大島保育園 職員
5	10	木		振り返り	職員

- 開設場所 教育文化会館
- 対 象 家庭教育に関心のある親と子
- 保育内容 自由遊び
- 保 育 者 ポピンズ
- 時 間 帯 10:00 ～ 12:00
- 参加者数 12人(男0人、女12人)
- 保育参加者数 12人(男6人、女6人)
- 延べ人数 51人

大師 家庭・地域教育学級

タイトル：「くらべたって、しかたない。」

主 題：～自分らしい子育てを見つめよう～

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・ 10	木	情報社会に育った今の保護者世代は、情報に振り回され自分の子育てを見失っている。子育ても母親も子どもも、自信を持って、「自分らしく」を認めることができる考え方を学ぶ	「くらべたって、しかたない。」～子育て・親育ち編～	表現教育インストラクター 親子遊び研究家 篠 秀夫
2	17	木		「でも、必要なことってあるんじゃない?」～健康・食育編～	国立保健医療科学院 生涯保健部長 加藤 則子
3	24	木		悩んでいるのは、私だけ?	NPJ認定ファシリテーター 伊東 弘子
4	7・ 1	木		「くらべたって、しかたない。」～みんなで考えよう編～	
5	8	木		「くらべたって、しかたない。」～「自分らしく」でいいじゃない編～	

- 開設場所 大師分館
- 対 象 市内在住・在勤の乳幼児を持つ保護者の方
- 参加者数 11人(男0人、女11人)
- 保育内容 自由遊び 他
- 保 育 者 クローバー
- 時 間 帯 10:00 ～ 12:00
- 延べ人数 46人
- 保育参加者数 9人(男7人、女2人)

田島 家庭・地域教育学級

タイトル：0歳からの子育て学級

主 題：初めての子育てを学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・7	木	お互いの親子となじみ、今後のプログラム遂行に向けた環境を整える	オリエンテーション この講座の趣旨や内容を知る	つくしんこ主宰 文 多恵
2	10・14	木		これからの子育てについて考える(1)	
3	10・21	木		地域に目を向けよう(1)	川崎区役所子ども支援室 職員
4	10・28	木	子育てに必要な地域の活動・支援に目を向ける	これからの子育てについて考える(2)	JPIC読書アドバイザー 児玉 ひろ美
5	11・4	木		地域に目を向けよう(2)	川崎区役所子ども支援室
6	11・11	木		子育てと栄養	管理栄養士 田邊 宏子
6	11・18	木	これからの活動に向けて	学習のまとめ	NPO法人ファザーリング ジャパン 理事 東 浩司 職員

●開設場所 田島分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 6ヶ月～1歳7ヶ月

●参加者数 20人(男5人、女15人)

●延べ人数 60人

●保育内容 自由遊び他

●保育参加者数 10人(男5人、女5人)

●保育者 5人

幸 家庭・地域教育学級

タイトル：ホッと子育て！Enjoy子育て！

主 題：子どもとの関わりを楽しもう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・13	木	転入者も増え地域のつながりが以前に比べ希薄になっている。そんな中、大人がどう子どもに関わったらいいか、さまざまな場面で子どもに関わってこられた方々の話を聞き、大人同士の仲間作り、場作りのきっかけをつくとともに子どもたちの現状を知る	オリエンテーション・自己紹介	元社会教育指導員 三星 とく子
2	20	木		命が生まれるとき	間中マザーカウンセラー 助産師 間中 伴子
3	27	木		幸区の子育て支援	幸区役所こども支援室 担当課長 足立 百合子
4	6・3	木		子どもの心と命	子どもの虐待防止センター 理事 広岡 智子
5	10	木		子どもの気持ちを受けとめる	臨床発達心理士 松鹿 光
6	17	木		私たちの子育て	廣岡 真生 廣岡 希美
7	24	木		心の扉を開いて	作曲家 小宮路 敏
8	7・3	土		子どもにとって遊びとは	実践女子短期大学 主任教授 藪田 碩哉
9	8	木		気持ちのいい関係 まとめ	とよたまこころの診療所 ソーシャルワーカー 辻野 恵子

●開設場所 幸市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 25人(男0人、女25人)

●延べ人数 150人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 12人(男6人、女6人)

●保育者 幸保育学習会

日吉 家庭・地域教育学級

タイトル：「幼児と親の学級」

主 題：素直な心で子どもと向き合う自分らしい子育てをめざして

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・ 1	金	子どもへの理解や子育てに関する様々なテーマ・悩みについて同じ立場の親たちや講師と話し合い、参加者と地域で活動するボランティアとの交流や学びから、これまでの自分の子育てを振り返り、今後の地域でいきいきとした子育てをしていくためのきっかけづくり、仲間づくりを進める	オリエンテーション 学級の進め方と保育の説明・自己紹介	ボランティア 職員
2	8	金		話し合おう、自分のこと子どものこと① 学級の仲間で交流しよう	職員 元日吉分館管理嘱託職員 比氣 みどり
3	15	金		話し合おう、自分のこと子どものこと② ～あなたの子育ての喜びや不安について語り、自分の悩みを相談してみよう～	帝京大学 教授 杉本 真理子
4	22	金		子育てと食事①～家庭で食べる楽しい食事 ～病気のない健康的な食生活～	栄養士 折野 裕子
5	29	金		温かみ・ぬくもりのある木のおもちゃは子どもの心と身体の栄養～積木のはなし～	おもちゃコンサルタント 横尾 泉
6	11・ 5	金		子どもと絵本の世界を考える	幸えほんの会 留目 知春
7	12	金		子育て井戸端会議	子ねっと幸 林 晴美 石井 美夜子 立野 和代
8	19	金		子育てと食事②～調理実習 (調理後、子どもたちと食事)	折野 裕子
9	26	金		素直な心で子どもと向き合う、自分らしい子育てをめざして	りんごの木 代表 柴田 愛子
10	12・ 3	金		学習のまとめ・交流会 ～学級の仲間で「さいわいふるさと公園」へ～	ボランティア 職員
11	10	金			

- 開設場所 日吉分館
- 対 象 1歳半～3歳未満の子を持つ保護者
- 参加者数 15人(男0人、女15人)
- 保育内容 自由遊び・お弁当
- 保 育 者 ぽっぼ
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 延べ人数 145人
- 保育参加者数 15人(男9人、女6人)

中原 家庭・地域教育学級(1)

主 題：子育ては「あせらず」・「いそがず」・「いま」を楽しもう☆

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・ 3	木	希薄になった人間関係の構築(ママ友作り)と日常と違う角度・目線で子どもと向き合う	楽しくあそぼう・友達になろう 親子でいっしょに歌の世界へ	声楽家 笹子まさえ 企画委員・保育ボランティア
2	10	木		「あせらず」・「いそがず」ってなあに～?	臨床発達心理士 石堂 志津子
3	24	木		こんなときどうする? (ケガ・病気・発熱など)	海老名メディカルクリニック 看護師 田中 千亜紀
4	7・ 1	木		パパママ上手に息抜き	あかねの風保育園 理事長 牧 裕子
5	8	木		まとめ・振り返り	企画委員・保育ボランティア

- 開設場所 中原市民館
- 対 象 2歳児～未就学児の保護者・関心のある方
- 参加者数 7人(男0人、女7人)
- 保育内容 自由遊び
- 保 育 者 ぽかぽか
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 延べ人数 26人
- 保育参加者数 7人(男5人、女2人)

中原 家庭・地域教育学級（2）

タイトル：みんなでみつけよう 笑顔の場所

主 題：発達障がいの子に寄り添う子育て

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・11	木	学校生活に支援が必要な子を持つ親同士が、学校や家庭での悩みや疑問、将来への不安など、思いの丈を打ち明けられる場をつくり、共に学ぶことで、親も子も笑顔でいられる子育てを目指す	オリエンテーション 課題をみつける（ワークショップ）	神奈川県LD等発達障害児・者親の会「にじの会」 宮原 昌代 橘分館 分館長 小柳 俊子
2	18	木		発達障がいについて正しい知識を得る	こども本部こども家庭センター 所長・児童精神科医 中山 浩
3	25	木		ありのままに、あたりまえに生きることは	あおぞら共生会 副理事長 明石 洋子
4	12・2	木		川崎市の特別支援体制やサポート窓口を知る	総合教育センター 指導主事 稲葉 武
5	9	木		課題解決への糸口（ワークショップ） まとめ・ふりかえり・今後に向けて	宮原 昌代 職員

●開設場所 中原市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 学校生活に支援が必要な子を持つ親

●参加者数 16人（男0人、女16人） ●延べ人数 63人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 5人（男5人、女0人）

●保育者 ぽかぽか

中原 家庭・地域教育学級（3）

タイトル：元気が出る子育てを！

主 題：ふれあいを大切に、地域で元気が出る子育てを

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・4	金	参加者のコミュニケーションを深める	オリエンテーション・自己紹介・親子遊び	保育ボランティア ぽかぽか 職員
2	18	金	子どもにとって遊びとは何かを考える	ニュージーランドの「プレイセンター」の取り組みから学ぶ	小平自由遊びの会 代表 プレイセンター協会認定 スーパーバイザー 足立 隆子
3	25	金	ふれあいが子どもに与える影響を考える	ありのままの自分で子どもと向き合おう・親子のできるわらべうた遊び	わらべうた実践家 久津摩 英子
4	3・4	金	幼児期の子どもの発達過程を知る	2歳児以上の子どもの心とからだの発達について	文京学院大学大学院 教授 金子 智栄子
5	11	金	学習のまとめ	質疑応答 子の自立と親の自立を考える	

●開設場所 中原市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 区内在住の2歳児以上の子を持つ保護者

●参加者数 8人（男0人、女8人） ●延べ人数 29人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 7人（男4人、女3人）

●保育者 ぽかぽか

高津 家庭・地域教育学級（１）

タイトル：新米ママと赤ちゃんのゆっくり子育て

主 題：初めての育児が家族や地域の協力を得て安心して穏やかに出来るようになる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・ 7	木	第1子の子育て中の保護者に対して、子どもへの理解を深め子どもと過ごす時間が穏やかになることを目指す	保育説明会・自己紹介	高津市民館登録保育ボランティア
2	14	木		離乳食を作ることをきっかけに今までの調理や食事を振り返る	料理研究家 神内 由里
3	21	木		子どもと一緒に絵本を読む時間を過ごすことで親子の感情の交流が出来るようになる。読み聞かせが日常の習慣になることを目指し、絵本を選ぶ視点を学ぶ	ぶっくぱる 代表 北 素子
4	11・ 2	火		産後の心身の変化を整えるためのセルフケアの方法や、ベビーマッサージでスキんシップの効用を学ぶ	オリーブ助産院 院長 柳澤 裕美
5	7	日		パートナーと協力して育児に向かえるようになる	育児についてパートナーとの協力関係をどのように築いていくのか考える

- 開設場所 高津市民館 ●時 間 帯 10:00～12:00:
- 対 象 生後1歳未満の第一子の子育て中の保護者とそのパートナー
- 参加者数 36人(男14人、女22人) ●延べ人数 93人
- 保育内容 6か月～1歳未満 ●保育参加者数 22人(男11人、女11人)
- 保 育 者 高津市民館保育ボランティア登録者

高津 家庭・地域教育学級（２）

主 題：親子でつくる食・遊・教（おれにまかせ vol.1）

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・ 13	日	料理を通して父親同士の交流の場を作り、お互いを知る機会にする	父親の実の参加で料理を作り会食をしながら自己紹介、家族紹介などをする	料理研究家 酒井 隆暁
2	27	日	参加者全員が遊びを通してふれあい交流を深める機会にする	親子で夢パークを活用し普段していない遊びに全員でチャレンジする	職員
3	3・ 6	日	父親と子どもで料理をすることで新たな一面を見つける機会にする	子どもと料理をつくることにより、父親の家事、育児参加について考える	料理研究家 神内 由里
4	13	日	これからの父親像を全員で考え地域を超えた父親の連携を深める	これからの子育てのために何ができるかを話し合う	共育ひろば主宰 牧岡 英夫

- 開設場所 高津市民館 他 ●時 間 帯 10:00～14:00
- 対 象 区内在住の父子(小1～小4)
- 参加者数 51人(男36人、女15人) ●延べ人数 82人

橘 家庭・地域教育学級（1）

タイトル：完ぺきな子育てって？

主 題：自分らしい子育てを！

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・18	火	地域で孤立した子育てから脱し、子育てに自信を持ち、地域で人間関係を作り、家庭や地域で何ができるかを自ら考える力量を育てる	オリエンテーション ①保育ボランティアと語り合う市民館保育活動 ②自己紹介	保育ボランティアグループ・ たけのこ 成田 知穂、野中 由美子
2	25	火		カナダ政府保健省の親支援プログラム 「Nobody's Perfect (完ぺきな親はいない)プログラム」体験	子育て研究リソースセンター 伊東 弘子、渡邊 暢子
3	6・1	火			
4	8	火		子育て、私の場合 ～薬剤師の立場、 地域の先輩ママの立場	薬剤師 久保田 泉
5	15	火			
6	22	火			
7	29	火		なぜ子育てに完ぺきを求めてしまうのか?① 子育てを取り巻く社会環境	教育ジャーナリスト 青木 悦
8	7・6	火			
9	13	火		講座のふりかえり 自分の成長：講座で何を学び、今後はどう生かすか 子どもの成長：市民館保育の初期と現在の変化	職員

●開設場所 橘分館

●時間帯 10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 15人(男0人、女15人)

●延べ人数 107人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 11人(男5人、女6人)

●保 育 者 たけのこ

橘 家庭・地域教育学級（2）

タイトル：0歳からの子育て、たちばなそだち

主 題：地域で同年齢の子を持つ親子の仲間づくりと子育ての課題発見

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・20	水	地域で孤立した子育てから脱し、将来同学年となる子を育てる親同士の間関係を作り、地域の多様な子育て支援機関・団体を知り、地域情報マップを共同作業で作ることを通じて、家庭や地域で何ができるかを自ら考える力を育てる	オリエンテーション 自己紹介	職員
2	27	水		私たちの地域「橘」を知る～地域に愛着を持って子育てする環境作りと情報交換	職員
3	11・3	水		男性参加者に育児についての生の声を聞き、子育てについて考える	地域子育て支援センターちとせ 担当係長 柳沢 智子
4	10	水		子どもと二人だけの時～子どもと一緒にいる時間を感じる苛立ちや悩み、困っている事等を出し合い、話し合う	子育てひろばボランティア 西村 麻紀子 三輪 芳恵
5	17	水		子育てに関する異世代間交流～地域の大先輩と一緒に簡単なおもちゃ作りをしながら子育てのポイントを学ぶ	橘第2地区民生委員・児童委員協議会 成田 まゆみ 小林 美和子
6	24	水		子ども同士のコミュニケーション～保育活動から見た子ども同士の遊びとコミュニケーション	保育ボランティアグループ・たけのこ 成田 知穂 林 千春
7	12・1	水		親子のコミュニケーション～就労も含め、子育てしながら子育て以外の時間が必要な時、子どもと上手に触れ合うこととは何かを話し合う	子母口こども文化センター 館長 稲葉 成子 地域子育て支援センター ふぁみいゆ子母口 坪川 宏美
8	8	水		親子でコミュニケーション～子育てしながらさまざまな地域活動をしている先輩ママたちを囲んで、子育てや地域活動などの話を聞き、これからの親子にとって有意義な過ごし方について考え、話し合う	子育てグループ・Sun&Beans 大原 弘美 草川 弘子 石渡 朝子 子育てグループ・くれよん 谷内 まり子 小林 裕美子 小林 弘子 旭 貴子
9	1・26	水		たちばなそだちミニ同窓会～これまでの学習を通し感じたこと、考えた事などをふりかえり、今後の子育てに活かす方法を発表する	職員
10	2・9	水		今後のグループ活動に向けて	職員

●開設場所 橘分館

●時間帯 10:00～11:30

●対象 橘地区在住の2009年4月2日～2010年4月1日生まれの子どもと親

●参加者数 22人(男3人、女19人) ●延べ人数 166人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 11人(男5人、女6人)

●保育者 ナルク川崎

橘 家庭・地域教育学級（3）

タイトル：いろいろな子、いろいろな親がいていいんだよ

主 題：一人ひとりの子どもを認める子育てって？

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・18	火	地域で孤立した子育てから脱し、子育てに自信を持ち、地域で人間関係を作り、家庭や地域で何ができるかを自ら考える力を育てる	オリエンテーション 自己紹介 保育ボランティア	保育ボランティアグループ・たけのこ 成田 知穂、野中 由美子 安田 直美、水口 麻紀
2	25	火		子育てつぶやきカルタを作ろう 私のワンテーマを考えてみよう	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
3	2・1	火		一人ひとりの子どもを認める① ～「つくしんこ」の実践から	青空保育「つくしんこ」主宰 文 多恵
4	8	火		一人ひとりの子どもを認める② ～待つこと、想像力、違っていいんだよ	
5	15	火		一人ひとりの子どもを認める③ ～私たちのふだんの暮らしをふりかえる	
6	22	火		「子育てママの本音新聞」を作ろう① ～私の想いを形に	竹迫 和代
7	3・1	火		私たちにできることはたくさんある ～いろいろな地域活動を知る	(財)かわさき市民活動センター 新垣 京子
8	8	火		「子育てママの本音新聞」を作ろう② ～レイアウトとプレス発表会	竹迫 和代

- 開設場所 橘分館
- 対 象 関心のある方
- 延べ人数 87人
- 保育参加者数 10人(男4人、女6人)
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 参加者数 17人(男0人、女17人)
- 保育内容 自由遊び
- 保 育 者 たけのこ

宮前 家庭・地域教育学級（1）

タイトル：子育て応援教室

主 題：家庭・地域教育学級「子育て応援教室」

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・29	金	私自身と妻と母親と混在している子育て中の自分を見つめなおす	自己紹介 オリエンテーション 講師の体験談から自分自身にとっての自立や育児のあり方を考える	小児科医 早崎 理香
2	11・9	火	育児を通して命の大切さや子どもの権利について考える	子どもの権利とは。親として、人として子育てに関わるとはどういうことなのかを考える。自分の体を大切に思う心を育てるために自分ができることを考える	
3	20	土	父親の立場から見た子育てや家族関係について知る	父親の役割と育児参加について、父親の育児観や家族関係への思いを聞き妻として母としてできることを考える	株式会社ソラーレ 代表 NPO法人ファザーリング・ジャパン 理事 東 浩司
4	25	木	音楽と運動が子どもに与える影響を知る	子どもと一緒に楽しもう リトミック	アイ・フィール・ファイン 山本 雅
5	30	火	子どもの身体と心の成長を学ぶ	年齢に応じた身体と心の発達を学び、子どもとの関係作りを知り、ママ友等とのコミュニケーションについて学ぶ	心理学博士・臨床心理士・ 宮前区保健福祉センター 幼児相談担当 平沼 晶子
6	12・1	水	講座を通して感じたことを共有しよう	講座を通して感じたことや講師の話しをグループで話し合いふりかえる	職員

- 開設場所 平こども文化センター
- 対 象 第1子が未就学児までの親子
- 延べ人数 81人
- 保育内容 自由遊び
- 保 育 者 登録ボランティア
- 時 間 帯 10:00～12:00 (14:00～16:00)
- 参加者数 27人(男6人、女21人)
- 保育参加者数 13人(男10人、女3人)

宮前 家庭・地域教育学級（2）

タイトル：子育て入門教室

主 題：子と親が共に育ちあっていくことを考察します

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・20	木	学級の趣旨を理解し保育の観点から子育てを考える	オリエンテーション／自己紹介／学習者の交流を図る／保育ボランティアと話そう！	職員ほか
2	2・3	木	子どもとのコミュニケーションの時間を大切にする	人を育てる唄を通して子どもと向き合う「わらべ」と「手遊び」を覚える	まめっこママサロン 主宰 神谷 ひろ子
3	10	木	地域での繋がりを通して、子どもとの向き合い方を考える	実際に行なわれている地域での活動を知る	みやまえ子どもフェスタ 2010 企画委員長 岡 幸子 さくらんぼ代表 高橋 保代 職員
4	17	木	ものづくりを通して子どもと接する時間を大切にする	子どもの心と身体を育むおもちゃを作って遊ぼう！	駒沢女子短期大学 准教授 菅原 順一
5	3・3	木	地域にある自然を通して子どもと接する時間を大切にする	子どもと一緒に地域デビューをしよう！（南野川ふれあいの森で遊ぼう！）	野川はあも 代表 小林 菊代
6	10	木	これからの子育てを考える	学習のまとめ ふりかえり	文京学院大学人間学部教授・同大学院教授 金子 智栄子

- 開設場所 有馬・野川生涯学習施設 他 ●時間帯 10:00～12:00
- 対 象 未就学児までの親子 ●参加者数 14人(男0人、女14人)
- 延べ人数 71人 ●保育内容 自由遊び
- 保育参加者数 8人(男7、女1人) ●保 育 者 登録ボランティア

宮前 家庭・地域教育学級（3）

タイトル：みんな笑顔で子育てしようよ！

主 題：子育てに対して疑問や不安を解消するための体験や学習をする

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・20	木	オリエンテーション	悩みを話し合う仲間を作ろう	元保育士 田岡 秋女
2	28	金	幼児期の子育て	日頃感じている子育ての疑問を解決しよう！子どもの成長について	文京学院大学教授・臨床心理士 金子 智栄子
3	2・4	金	子育て中の親のあり方	親はどのように成長すれば良いかを学ぼう	
4	11	金	パパの育児参加①	聞きなれているいつもの音楽で幼児体操をやってみよう	エスアールシーカンパニー 石崎 潤、三河 侑子
5	17	木	ケガの対処法など	この時期に起こりがちな事故を防ぐ方法や対処法を学ぼう	宮前消防署 職員
6	26	土	パパの育児参加②	目指せ！イクメン	NPO法人ファザーリングジャパン 理事 東 浩司
7	3・3	木	子どもの豊かな心と体を育むために	子どもが育つ事に対する正しい知識を学ぼう	小児科医 中村 敬
8	12	土	パパの育児参加③	パパのためのパパごはん講座	NPO法人ファザーリングジャパン パパ料理研究家 滝村 雅晴
9	19	土	地域に出てみよう	肌で季節を感じながら、地域の遊びの達人に自然の中での遊び方を学ぼう	野川はあも 小林 菊代
10	24	木	まとめ	学習を振り返ろう	金子 智栄子

- 開設場所 宮前市民館 他 ●時間帯 10:00～12:00
- 対 象 2～3歳児を持つ保護者 ●参加者数 29人(男12人、女17人) ●延べ人数 162人
- 保育内容 自由遊び ●保育参加者数 15人(男7人、女8人)
- 保 育 者 登録ボランティア

菅生 家庭・地域教育学級（１）

タイトル：みんなで考えよう私たちの子育て

主 題：聞いている様で聞いている子どもの話、きちんと耳を傾ける

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・24	月	率直に自分を表現してみよう	今、おかれている自分の立場、何をどうしたいのか	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
2	31	月	先輩ママと話そう	少し年上の子どもを持つ母親たちと共に育児の悩み不安や楽しさを聞く	先輩ママ 職員
3	6・7	月	先輩ママとの交流から得たもの	先輩ママたちから得たものを整理して自分なりに役立ててみる	竹迫 和代
4	14	月	視点を変えて子どもを見てみる	保育の専門家から助言を受けながら子どもとの関わり方を考える	南菅生保育園 園長 松田 笑美子
5	28	月	子どもの健康、私の健康	子どもが元気に過ごせるように体調や怪我等にどう対処したらよいかを学ぶ	川崎市看護協会 重永 幾代
6	7・5	月	料理を通して子どもとコミュニケーション	子どもとおしゃべりをしながら一緒に料理をする。日常のふれあいを大切に	押野 政・西野 けい 職員
7	12	月	振り返って	これからの自分について考え、近い将来の実現に向けて	きらきらママ 三星 とく子

●開設場所 菅生分館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 乳幼児を持つ親 20人

●参加者数 13人(男0人、女13人)

●延べ人数 51人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 13人(男10人、女3人)

●保 育 者 菅生分館登録ボランティア

菅生 家庭・地域教育学級（２）

タイトル：子どもたちのために地域ができることは・・・

主 題：私たちは子どもに寄り添う応援団

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12・3	金	子ども達が豊かに育っていくために、地域ができることを探る	少女達に寄り添う中で見えてきたことは・・・	ライター 橘 ジュン
2	17	金		[公開講座]「子どものホンネって・・・？」 (会場：菅生小学校)	ジャーナリスト 青木 悦
3	1・28	金		学習支援の取り組み事例に学ぶ	ラーニングフォーオール代表 理事 松田 悠介
4	2・4	金		これからの私達にできることは？	職員
5	18	金		私にとっての学び 不登校からの出発	学生 近藤 桃子
6	25	金		「道親」さんのいる町、安心できる「HOME」とは	ルポライター 北村 年子
7	3・12	土		今後に向けて、私達の第一歩は？	職員

●開設場所 菅生分館 他

●時 間 帯 18:30～20:30(第2回のみ16:30～18:30)

●対 象 関心のある方

●参加者数 37人(男4人、女34人)

●延べ人数 99人

菅生 家庭・地域教育学級（3）

タイトル：話しませんか、思春期のこと ～子どもの葛藤・親の葛藤～

主 題：思春期の子どもへの理解と親の葛藤を考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・20	木	思春期を表現して形にしてみる	思春期の子どもへの感情を形にして自分の気持ちを確認していく	職員
2	27	木	思春期の成長過程の特徴を知る	思春期の特性を知って子どもの言動の理解への一助とする	臨床心理士 森本 麻穂
3	2・3	木	子どもが抱えているいろんな思いを知る	子どもが悩み苦しんでいる原因を受けとめる	ライター 橘 ジュン
4	10	木	子どもへの気持ちをうまく伝えるために	子どもとの意思疎通がうまくいかないことでの葛藤を軽減する	ルポライター、自己尊重トレーニング・トレーナー 北村 年子
5	17	木	子どもの気持ちと親の気持ち、バランスは？	子どもの気持ちを受けとめるとともに親自身の気持ちの落としどころを探る	
6	24	木	思春期の子どもとの関係を考える	思春期は親子関係を変える時期であることを認識しこれからの親子関係を考える	職員

●開設場所 菅生分館 ●時間帯 10:00～12:00

●対象 思春期の子どもへの親、関心のある方

●参加者数 20人(男1人、女19人) ●延べ人数 78人

多摩 家庭・地域教育学級（1）

タイトル：びよびよ学級

主 題：わたし流・子育てと仕事

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・1	火	子育て中は、社会から孤立しているような感じを受け、できるだけ早く仕事に戻りたいと考える母親が多い。しかし、子どもをもつことにより世界がひろがり、それまでとは違う興味、関心を持ち、新たな仕事との出会いがあることを伝え、子育ても仕事も自分なりに納得できることを探していくためにどうしたらいいかを探る	オリエンテーション 1、2歳児のこころとからだを知ろう！	職員 地域子育て支援センターにししゅくがわら主査 高橋 みどり
2	6	日		パパも一緒にコンサート 音楽にあわせて、体を動かそう！	音楽療法トレーナー 雅音楽教室主宰 山本 雅
3	15	火		幼児食の量や栄養について 実際に幼児食をつくって食べてみる	管理栄養士 林 恵子
4	22	日		ベビーサインを学んでみる 講師が仕事と出合ったいきさつについて聞く	ベビーサイン講師 金澤 晶子
5	29	火		スクラップブックを学ぶ 講師が仕事と出合ったいきさつについて聞く	スクラップブック講師 長戸 清美
6	7・6	火		「わたし流子育てと仕事」についてそれぞれのビジョンを発表する	多摩区役所こども支援室 係長 奈良 真澄
7	16	金		みんなで話そう！自主保育って？	自主保育ぐりじゃんメンバー

●開設場所 多摩市民館 ●時間帯 10:00～12:00

●対象 6ヶ月～12ヶ月の子どもと保護者

●参加者数 14人(男0人、女14人) ●延べ人数 97人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 21人(男16人、女5人)

●保育者 多摩保育グループ

多摩 家庭・地域教育学級（2）

タイトル：プレママ子育て応援講座

主 題：昨年出産した先輩ママの知ってたらよかったことを伝授

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・ 4	木	出産前に産後の様子を知っておくことにより、楽しい子育てができるよう支援する	オリエンテーション 先輩ママとお産の話をしよう!	職員 先輩ママ
2	7	木		パパも一緒に・・・妊婦体験、お腹のあかちゃんの様子を知ろう	助産師 間中 伴子
3	11	木		母乳育児について	絵本作家 いとう えみこ
4	23	火		パパも一緒に・・・マタニティブルーと産後うつ	専修大学 臨床心理士 波田野 由美
5	12・ 2	木		どうなってる?多摩区の子育て支援 先輩ママと話そう!	多摩区役所こども支援室 課長補佐 太山 和枝 先輩ママ
6	9	木		いままでを振り返り、子育てについて前向きなイメージを話し合う	職員 先輩ママ

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 第1子妊娠中のプレママ

●参加者数 11人(男0人、女11人)

●延べ人数 45人

麻生 家庭・地域教育学級

タイトル：めざせ!はなまる子育て

主 題：愛情豊かな子育てをめざす

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・ 11	火	同年代のお子さんを育てるママ・パパ同士と一緒に子育てについて話してみよう。愛情豊かな子育てを目指して、専門家から様々なエッセンスを学ぼう	オリエンテーション 保育説明会	保育ボランティアグループ ジャンケンポン 職員
2	18	火		情操教育と人間性の育み	元玉川大学 講師 小宮路 敏
3	25	火		手遊びとおもちゃづくり	保育士 清野 祐子
4	6・ 1	火		“笑顔”が子どもの発育、親子関係に及ぼす効果とその実践①	スマイル ワン代表 大槻 笑子
5	8	火		絵本を通して子どもの心を育てる パパも一緒に子育てに参加するヒント	パパ's絵本プロジェクト 田中 尚人
6	15	火		時代とともに移り変わる子育て	臨床心理士 稲富 正治
7	22	火		食育～2歳児～4歳児の食生活について	国立保健医療科学院 部長 加藤 則子
8	29	火		笑顔が子どもの発育・親子関係に及ぼす効果とその実践②	大槻 笑子
9	7・ 6	火		親のメンタルヘルスを考えながら、子どもとともに育つあり方を考える	臨床心理士 長田 洋和
10	13	火		親同士のコミュニケーション	産業カウンセラー 岡 智子

●開設場所 麻生市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 2歳～4歳児の保護者

●参加者数 22人(男0人、女22人)

●延べ人数 168人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 19人(男11人、女8人)

●保育者 ジャンケンポン

岡上 家庭・地域教育学級

タイトル：地域で楽しく・共・育・ちⅣ

主 題：親・子ども・地域が共に学び、育ち合う関係づくりを考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・10	金	お互いを知り、交流し、学級を理解する	オリエンテーション	保育ボランティアグループ ジャンケンポン 職員
2	17	金	お互いを知り、親子で身体や心を遊ばせる	親子遊びやふれあい遊びから、心を感じふれあい、お互いを知る	和光大学 准教授 後藤 紀子
3	24	金	「共育ち」を学ぶ	「話そう、聞こう、今私は」 子育てのストレスや不安を出し合って、今の自分を見つめる	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
4	10・8	金		草花遊びや絵本を通して、「私の五感」を再発見する	ナチュラリスト 高柳 芳恵
5	15	金		絵本の持つ力ってなんだろう 子どもの健やかな心をはぐくむ、絵本とのかかわり方や大切さを知る	和光大学 准教授 林 浩子
6	22	金		身近な場所を散歩しながら広がる世界を知って、子どもの心を感じる	高柳 芳恵
7	11・6	土		岡上の大地の恵みを味わう 分館菜園での収穫をし、地産地消を学ぶ	地元農業者 山田 美智子 蛭町 優 職員
8	19	金	「共育ち」していくこれからの考える	多くの人とかかわって- 子育て 「子育て」「自分育ち」	すぎのこ保育園 園長 川名 初代
9	26	金		共育ち(ともそだち)になっていくには	竹迫 和代
10	12・3	金		記録集を作ってみよう!! 「共・育・ちⅣ」を終えて	ジャンケンポン 職員

- 開設場所 岡上分館
- 対 象 2歳以上～就学前の子どもを持つ保護者
- 参加者数 12人(男0人、女12人)
- 保育内容 自由あそび お散歩
- 保 育 者 ジャンケンポン
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 延べ人数 99人
- 保育参加者数 12人(男5人、女7人)

Ⅲ 2 (2) 市民館保育活動

施設名	学級名	回数	子どもの参加者数	対象年齢	延べ人数	保育者
教文	識字学習活動	40	21人	2歳～未就学児	214人	ポピンズ
	家庭・地域教育学級(1)	5	5人		25人	
	家庭・地域教育学級(2)	5	12人		51人	
	市民自主学級 (明日のためのスキルアップ)	10	4人		13人	
	市民自主企画事業 (ワールドキッズ2010)	5	6人		19人	
大師	家庭・地域教育学級	5	9人	2歳～未就学児	39人	クローバー
	市民自主企画事業 (絵本で子育て)	1	6人		6人	
田島	家庭・地域教育学級	7	10人	6ヶ月～1歳7カ月	60人	らんたん
	市民自主学級 (元気っ子クラブ)	6	3人	0歳～2歳	8人	
幸	家庭・地域教育学級	9	12人	2歳～未就学児	75人	幸保育学習会
	市民自主学級 (おひさまクラブ2010)	13	23人		191人	
	市民自主企画事業 (はじめての読み聞かせ講座)	4	3人		10人	
	男女平等推進学習	1	3人		3人	
	平和・人権学習	8	2人		9人	
	識字学習活動	36	13人	1歳～未就学児	225人	キャンディ
市民自主企画事業 (伝えあおう!あなたの思い)	1	2人	2人			
日吉	家庭・地域教育学級	11	15人	1歳半～2歳11ヶ月	145人	保育ボランティア ぼっぼ
	市民自主企画事業 (地域で子どもを育てよう)	2	15人	2歳～未就学児	23人	
	市民自主企画事業 (国際交流サロンプレ企画)	1	3人		3人	
中原	男女平等推進学習(1)	5	5人	2歳～未就園児	5人	ぼかぼかの会
	男女平等推進学習(2)	6	5人		8人	
	家庭・地域教育学級(1)	6	7人		16人	
	家庭・地域教育学級(2)	5	5人		21人	
	家庭・地域教育学級(3)	5	7人		29人	
	識字学習活動	33	12人	1歳半～未就園児	130人	どんぐりの会
	市民自主学級 (プレイセンター「遊びの広場」)	16	15人	2歳～未就園児	180人	ぼかぼかの会
	市民自主学級 (子ども大好き私も大好き)	12	15人	2歳～3歳児	130人	にじの会
	市民自主学級 (子育てストレスケア)	5	11人	2歳～未就園児	36人	高津市民館登録 ボランティア
	市民自主学級 (パパ塾)	2	7人		10人	
	市民自主企画事業 (食育セミナー)	2	9人		9人	

施設名	学級名	回数	子どもの参加者数	対象年齢	延べ人数	保育者
高津	識字学習活動	34	20人	1歳～5歳	269人	高津市民館 保育ボランティア 登録者
	家庭・地域教育学級(1)	4	22人	6ヶ月～11ヶ月	59人	
	男女平等推進学習	6	11人	1歳～5歳	37人	
	市民自主学級 (絵本で多文化)	4	2人	1歳～2歳	5人	
	市民エンパワーメント研修	5	4人	0歳～2歳	9人	
	保育ボランティア研修	5	3人	1歳	12人	
橋	家庭・地域教育学級(1)	9	11人	2歳～未就学児	85人	たけのこ
	家庭・地域教育学級(3)	9	7人		47人	
	保育ボランティア研修	7	2人	1歳半～未就学児	9人	ナルク川崎
	市民自主学級 (発達障がいを考えよう)	7	9人		45人	
	市民自主企画事業 (ママ・カフェ)	5	11人	2歳～未就学児	47人	たけのこ ナルク川崎
宮前	識字学習活動	32	17人	1歳半～就学前	195人	宮前市民館 保育ボランティア 登録者
	家庭・地域教育学級(1)	4	13人		37人	
	家庭・地域教育学級(2)	5	9人	1歳2ヶ月～就学前	35人	
	家庭・地域教育学級(3)	8	15人	2歳～3歳児	84人	
	市民自主学級 (子どもと絵本のはじめてのであい)	6	20人	1歳半～就学前	92人	
	保育ボランティア研修(2)	6	9人		62人	
菅生	家庭・地域教育学級(1)	7	13人	乳幼児(首が据わっていること)	51人	登録ボランティア
	市民自主学級 (女性のためのライフアップ講座)	10	10人		81人	
	市民自主学級 (子どもと絵本の素敵な出会いのために)	6	13人		59人	
多摩	識字学習活動	37	18人	0歳～(応相談)	80人	多摩保育グループ
	家庭・地域教育学級(1) (ぴよぴよ学級)	2	12人	6ヶ月～1歳	22人	
	男女平等推進学習	10	6人	0歳～(応相談)	41人	
	市民自主学級 (たま親♥子学級)	9	21人	2歳～未就学児	156人	
	市民自主学級 (社会人の部活宣言)	7	3人	0歳～(応相談)	16人	
麻生	識字学習活動	33	11人	1歳～3歳	123人	ジャンケンボン
	家庭・地域教育学級	10	19人	2歳～3歳	153人	
	市民エンパワーメント研修	8	1人		4人	
	男女平等推進学習(1)	5	2人	8人		
	平和・人権学習(1)	5	6人	1歳～3歳	19人	
岡上	家庭・地域教育学級	10	12人	2歳～未就学児	98人	ジャンケンボン

Ⅲ 2 (3) 保育ボランティア研修

幸 保育ボランティア講座

主 題：地域で支え合える子育てをめざして

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・1	火	講座のねらいを理解し、受講者同士が知り合う	オリエンテーション・自己紹介	職員
			子育ての現状を知る	今どきの子育て情報	幸区役所こども支援室 課長補佐 端坂 幸子
2	8	火	保育者としての心構えと子どもや保護者との接し方を学ぶ	子どもたちが安心して遊ぶことのできる場をつくらう!	元公立保育園 園長・保育士 田母神 良子
3	15	火	保育現場に必要な子どもの安全に関する知識や技術を習得する	いざというときのために	日本赤十字神奈川支部 石川 康子
4	22	火		保育園の園長先生から学ぶ	夢見ヶ崎保育園 園長 前原 康子
5	29	火	子育て環境の変化や地域の中で子どもたちが様々な体験をすることの大切さを学び、いま、なぜ保育が必要かを考える	地域で支え合う子育てとは	青空保育「つくしんこ」主宰 文 多恵
6	7・6	火		地域で子どもが育つとは	
7	13	火	学級を振り返り、今後の活動につなげる	これからの活動に向けて	職員

●開設場所 幸市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 15歳以上の関心のある方

●参加者数 8人(男0人、女8人)

●延べ人数 37人

高津 保育ボランティア研修

主 題：保育ボランティア入門講座

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・18	木	保育説明会	保育ボランティアと保護者との交流 母同士の交流	高津市民館登録 保育ボランティア
2	20	木	市民館保育活動を理解する	市民館保育の意義とあゆみについて オリエンテーション 仲間作り	橘分館 館長 小柳 俊子
3	27	木	保育ボランティアとしての視点や役割を理解する	ありのままの子どもに寄り添う接し方を学ぶ	りんごの木こどもクラブ 代表 柴田 愛子
4	6・3	木		安全に配慮した保育活動のために 子どもの体やけがについて学ぶ	川崎市看護協会 看護師 重永 幾代
5	10	木	自分の主体的な関わりが市民社会の一端を担うということを学ぶ	ボランティア活動に主体的に関わり継続するために必要なことを考え「かわさき市民活動保険」について知る	(財)かわさき市民活動センター 職員 福森 義之
6	5・26 6・16	水	保育ボランティアとしての視点や役割を理解する	市民館保育活動を体験し、年齢の違う子どもたちが児童室で過ごすことの有用性を考えながら実習をすすめる	職員
7	17	木		実習中に気づいたことやこれまで学んだことを話し合い今後につなげる	小柳 俊子

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 39人(女39人)

●延べ人数 192人

●保育内容 1歳～3歳

●保育参加者数 4人(男1人、女3人)

●保育者 高津市民館保育ボランティア登録者

橘 保育ボランティア研修

主 題：あなたも保育ボランティアに・・・

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・13	木	橘地区は共同住宅が多く、核家族世帯の保護者が孤立する傾向がみられ、市民館保育活動の重要性が高まっている。①市民館保育活動の意義と歩みを理解し、②地域で子育てを支えていく保育ボランティアとして必要な視点を学ぶ機会を作る。	オリエンテーション ①講座の進め方 ②自己紹介	職員
2	20	木		保育ボランティアの立場から見た市民館保育活動	保育ボランティアグループ・ たけのこ 山本 貴子 シニアボランティアグループ・ ナルク川崎 花崎 良政、山田 輝世
3	27	木		学習者の立場から見た市民館保育活動	保育つき学級受講者 矢越 麻須美 平林 麻里子
4	6・3	木		地域で支える子育てとは① なぜ市民館保育活動が必要か	あおぞら保育「つくしんこ」 主宰 文 多恵
5	10	木		実習 プラザ橘子育てひろばを体験	職員 子育てひろばボランティア
6	17	木		地域で支える子育てとは② 「つくしんこ」の実践から学ぶ	文 多恵
7	24	木		地域で支える子育てとは③ 講座のふりかえりとこれからの活動	

●開設場所 プラザ橘

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 12人(男0人、女12人)

●延べ人数 46人

宮前 保育ボランティア研修(1)

主 題：保育ボランティア研修Ⅰ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・15	木	保育ボランティアとしての資質を高めるために施設を訪ねる	川崎西部療育センター見学 支援を必要とする方への支援方法について学ぶ	川崎西部療育センター 武居 光
2	9・15	水	障がいを持つ子どもの保育活動中に役立つ知識を学ぶ	今までの事例を使って保育士の実体験を基に対応を学ぶ	有馬保育園 保育士 玉井 ひろみ
3	10・29	金	まとめ	これからの活動にどう活かせるか話し合い考えを共有する	職員

●開設場所 宮前市民館 他

●時間帯 10:00～12:00 15:00～16:30

●対象 宮前市民館登録ボランティア及び関心のある方

●参加者数 13人(男0人、女13人) ●延べ人数 25人

宮前 保育ボランティア研修（２）

主 題：保育ボランティア研修Ⅱ「求む♪多文化保育ボランティア」

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・8	火	ボランティア活動を始める時に心に留めておくこと	オリエンテーション・自己紹介 ボランティア活動とは何かを知る ボランティア活動の紹介	LET'S国際ボランティア 交流会 代表 (財)かわさき市民活動センター 理事長 小倉 敬子
2	15	火	多文化共生や異文化理解とはなんだろう	多文化な背景を持つ人々を知る	
3	18	金	多文化な背景を持つ子どもの特性を知る ～子どもの成長に大人がかかわることについて学ぶ～	乳幼児の身体の成長と心の成長を知る 多文化な背景を持つ親子と関係をつなぐにはどのようにすればよいのか学ぶ	社会福祉法人青丘社 桜本保育園 保育士 國分 とし子
4	22	火	子どもの気持ちを受け止め、見守るために	いつもと違う環境にいる子どもの心に寄り添うためにできることを知る。突然起こるケガや病気の対処法を学ぶ	看護師・ツアーナース 井原 貴重
5	3・2	水	料理を通して交流しよう	調理実習 日本で暮らす外国人と料理を通して交流する地域や暮らしに対する思いを聞く	宮前日本語学級 土橋 ジャンディ
6	8	火	まずは、始めの一步を踏み出そう	講座を振り返って感想とまとめを話し合う	職員

- 開設場所 宮前市民館 ●時 間 帯 10:00～12:00 10:00～14:00
- 対 象 地域でのボランティア活動に関心のある方
- 参加者数 20人(男0人、女20人) ●延べ人数 62人
- 保育内容 自由遊び ●保育参加者数 9人(男5人、女4人)
- 保 育 者 登録保育ボランティア

麻生 保育ボランティア講座

主 題：ボランティアの定義を理解し、保育の知識や姿勢を学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・28	金	保育現場で必要とする知識を身につけ、市民館保育活動を理解する	乳幼児の発達と預かる時の姿勢 手遊びやふれあい遊びの習得	高石保育園 保育士 内海 玲子
2	6・4	金		今時の親子の気質と対応の仕方 パネルシアターに挑戦	高石保育園 保育士 佐々木 幸代
3	11	金		乳幼児の安全と対応 市民館保育の説明と保育ボランティア活動について	保育ボランティアグループ ジャンケンポン 職員
	6・15 7・15	火 木	実践の場を体験する	開設中の市民館保育活動に体験実習	保育ボランティアグループ ジャンケンポン
4	7・2	金	母子との関わり方について学ぶ	気持ちに寄り添い、心を受け止めるスキルを学ぶ	心理カウンセラー 内田 良子
5	9	金		子どもの心を育てるコミュニケーションの仕方	和光大学 准教授 常田 秀子
6	16	金	ボランティアの心得	ボランティア活動の原則と心構え	玉川大学 講師 臨床心理士 石井 栄子

- 開設場所 麻生市民館 ●時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 保育活動に関心ある方 ●参加者数 32人(男2人、女30人)
- 延べ人数 163人

Ⅲ 3 (1) 川崎区家庭教育推進協議会

川崎区家庭教育推進協議会

(◎は会長、○は副会長)

氏名	所属	氏名	所属
◎ 河 岸 与志夫 ○ 山 崎 幸 夫 野 口 恵 子	川崎区PTA協議会 会長 教育文化会館 館長 川崎区地域教育会議子ども会議 担当部会 副部会長	杉 山 麻由美 澤 田 幸 枝	川崎区PTA協議会 会計 新町小学校 校長

●開催日 8月3日、11月9日、3月8日

幸区家庭教育推進協議会

(◎は会長、○は副会長)

氏名	所属	氏名	所属
◎ 齋 藤 茂 ○ 星 野 和 生 向 井 竜 樹	幸区PTA協議会 会長 西御幸小学校 校長 幸区PTA協議会 副会長	前 田 賀奈子 伊 藤 健 豊 岡 裕一郎	幸区PTA協議会 会計 主任児童委員・幸区地域教育会議委員 幸市民館 館長

●開催日 6月28日、10月27日、3月3日

中原区家庭教育推進協議会

(◎は会長、○は副会長)

氏名	所属	氏名	所属
◎ 松 尾 順 基 ○ 小 林 信 昭	中原区PTA協議会 会長 井田小学校 校長	塩 崎 洋 子	中原区PTA協議会 副会長

●開催日 5月17日、11月18日、3月10日

高津区家庭教育推進協議会

(◎は会長、○は副会長)

氏名	所属	氏名	所属
◎ 漆 原 将 毅 ○ 平古場 博 子 宇佐美 和 則	高津区PTA協議会 会長 高津区PTA協議会 副会長 西高津中学校 校長	小 島 晃 宏 金 俊一郎 昼 間 豊	子母口小学校 校長 高津区地域教育会議 議長 高津市民館 館長

●開催日 7月9日、3月10日

宮前区家庭教育推進協議会

(◎は会長、○は副会長)

氏名	所属	氏名	所属
◎ 齋 藤 淳 ○ 鯨 坂 庸 子 松 井 隆 夫	宮前区PTA協議会 会長 宮前区PTA協議会 書記 菅生中学校 校長	新 村 富喜子 森 正 利 岩 瀬 正 人	土橋小学校 校長 梶ヶ谷小学校 校長 宮前市民館 館長

●開催日 6月8日、3月8日

多摩区家庭教育推進協議会

(◎は会長、○は副会長)

氏名	所属	氏名	所属
◎ 土 方 美 喜 ○ 新 堀 信 之	多摩区PTA協議会 会長 川崎市立生田小学校 校長	岡 本 彩 子 夏 井 美 幸	多摩区PTA協議会 成人委員会委員長 多摩市民館 館長

●開催日 6月18日、12月11日

麻生区家庭教育推進協議会

(◎は会長、○は副会長)

氏名	所属	氏名	所属
◎ 加 瀬 素 市 ○ 村 上 寛 山 田 安 之	麻生区PTA協議会 会長 麻生小学校 校長 麻生区地域教育会議 副議長	三 上 由加利 宮 崎 瑞 穂 小金井 武 春	麻生区PTA協議会 副会長 麻生区PTA協議会 副会長 麻生市民館 館長

●開催日 7月8日、11月11日、3月11日 (*震災のため中止)

Ⅲ 3 (2) P T A等家庭教育学級

教育文化会館

※参加者数 () 内は男性

実施団体	開設期間	回数 参加者数	テーマ	学習内容
殿町小学校PTA	7・6 ~ 11・5	5 107 (0)	親子のコミュニケーションと健康について	熱中症の予防方法／家族が健康で過ごすための予防法／栄養と食育
四谷小学校PTA	9・29 ~ 2・14	2 38 (0)	子どもの笑顔は家族の笑顔	環境問題を身近な題材で学ぶ／お小遣いについて学ぶ
東門前小学校PTA	6・24 ~ 11・11	3 114 (3)	子供たちの未来のために	学年別の子供の特徴や子供との関わり方を学ぶ／子供の褒め方・叱り方を学ぶ 他
大師小学校PTA	10・25 ~ 11・10	2 62 (0)	家庭で活かせる薬と健康を学ぶ	家庭で活かせる植物療法／薬を水で摂取する訳や飲料の種類で起こる副作用
川中島小学校PTA	6・30 ~ 2・7	3 107 (5)	みんなで考えよう!! 親子のコミュニケーション	子どもへの暴力防止／家庭・地域・学校が連携して子どもを見守る方法 他
藤崎小学校PTA	7・14 ~ 1・14	3 123 (10)	子どもの健やかな成長を育むために	子どもの発達障害を学ぶ／子どもの金銭教育を学ぶ
さくら小学校PTA	6・15 ~ 11・11	3 65 (4)	子どもの健全な育成を考えよう	救命活動への知識を理解する／子どもへの暴力対策を学ぶ 他
渡田小学校PTA	9・13 ~ 11・16	3 76 (0)	親子の絆～子どもの成長に向き合おう	子どもと学ぶ性教育／親子の触れ合い／子どもたちのネット遊びの危険性
東小田小学校PTA	8・27 ~ 1・15	3 60 (4)	子供が成長する時～私達の上手な寄り添い方	保健室から学ぶ子供たちの悩み／反抗期の子供とどう向き合うか／正しい姿勢の大切さ
小田小学校PTA	6・2 ~ 1・15	3 53 (3)	子どもの健やかな成長を願って	子どもの人権を守る／子ども身体のしくみを学ぶ／正しい姿勢の大切さを学ぶ
浅田小学校PTA	6・25 ~ 1・15	4 130 (2)	親と子が今だからこそ学ばなければいけない事	子供を犯罪から守る／成長期に大事な食生活／インフルエンザから家族を守る 他
東大島小学校PTA	6・14 ~ 2・18	3 41 (0)	子供の権利学習	子どもへの暴力防止・子供の権利ワークショップ／性教育について親子で考える 他
向小学校PTA	7・13 ~ 2・18	3 79 (0)	子供の心と身体の健康について考える	薬に頼らない植物療法／防犯意識を高める／子供の心と身体を知る性教育
田島小学校PTA	6・22 ~ 9・6	2 35 (0)	子どもの安全な生活を考える	携帯電話に関するトラブルを防ぐには／子どもへの暴力防止プログラム
新町小学校PTA	7・12 ~ 12・9	3 67 (0)	子供の安全と健康を考える	子供が犯罪に巻き込まれない対策／子供の目を守る事／いじめの現状
旭町小学校PTA	6・4 ~ 11・12	2 44 (0)	心身の健康は子供とよい関係を築く第一歩	子どもを取り巻く環境の危険から子どもを守るワークショップ
宮前小学校PTA	7・6 ~ 1・12	3 145 (8)	子供の安全について考えよう	子育てを楽しむコツについて／子どもにお金の大切さを教えることの重要性 他
川崎小学校PTA	6・8 ~ 2・3	3 96 (0)	子どもの心を守るためには	子どもへの暴力防止プログラム／児童期の心理ワークショップ 他
京町小学校PTA	10・19 ~ 2・17	3 65 (0)	学んで守ろう! 家族の健康	子どもの歯並びの重要性／食育 他
田島養護学校PTA	6・29 ~ 2・7	4 95 (1)	もっともっと知ろう!! 学校、子供たちの事	人として生きる／田島養護の給食支援について／難病を抱えても力強く生きる (講演会)

幸市民館

※参加者数 () 内は男性

実施団体	開設期間	回数 参加者数	テーマ	学習内容
小倉小学校PTA	6・7 ~ 2・8	4 130 (2)	子どもとコミュニケーションを取るには	親子のコミュニケーション／食育／動物親子から学ぶ子育て／多文化共生
下河原小学校PTA	6・29 ~ 2・10	3 79 (4)	健やかな成長を願い、子どもと触れあおう	子どもの成長に必要な食／パソコンの便利性と危険性／食の安全
戸手小学校PTA	7・8 ~ 2・8	3 89 (14)	親が学ぶ子どもの心と身体の安全	子どもと親と学校のコミュニケーション／机上防災／救命救急

西御幸小学校PTA	6・26 ~ 2・7	3 50 (6)	親子で育む心と身体	子どものほめ方しかり方／食育／親子で考える低体温化問題
東小倉小学校PTA	6・19 ~ 11・11	3 139 (27)	親子で考える危険からの身の護り方	家庭の防災対策／CAP大人のワークショップ／親子のコミュニケーション
日吉小学校PTA	6・21 ~ 2・28	4 112 (0)	子育ての経験や知恵を学び合い、共に成長しよう	自己表現の育成／子どもに学ぶ家庭教育／食育
南加瀬小学校PTA	7・8 ~ 1・27	3 63 (1)	育てよう思いやりの心、深めようふれあいの輪	子どもの金銭教育／子どもに伝える冠婚葬祭／子どもとのコミュニケーション

中原市民館

※参加者数()内は男性

実施団体	開設期間	回数 参加者数	テーマ	学習内容
平間小学校PTA	6・1 ~ 11・19	3 117 (0)	心と身体の健康をはぐくもう	子どもの反抗期・思春期鬱って何だろう／言葉を重視したコミュニケーション 他
玉川小学校PTA	6・21 ~ 12・6	3 81 (6)	子どもとおとなが笑顔で元気にすごすために	子どもの目線で学ぶ防犯対策／思春期前の子育て「素敵笑顔の子どもに育てよう」 他
下沼部小学校PTA	7・9 ~ 11・26	3 229 (8)	笑顔に会える楽しい学校	性教育…親子でどう接するか／子どものサインに気づいて…親としての見守り方・対処法
荊宿小学校PTA	6・25 ~ 1・24	3 87 (0)	親子の絆を深め、子どもの健やかな成長を祈って	子どもとの触れ合い／こどもの心が見えてますか／いざというときに～救命救急法
東住吉小学校PTA	7・12 ~ 1・17	4 137 (3)	親子で元気な心と身体を育てよう	正しい姿勢について学び親子で健康にすごすために／食育(好き嫌いをなくそう) 他
井田小学校PTA	7・2 ~ 1・31	4 276 (0)	子どもの健全な成長を目指して	子どもインターネット安全教室／CAP大人のワークショップ／子どもと話す性
上丸子小学校PTA	6・9 ~ 9・1	3 135 (11)	子どもが安全で健やかに成長するために	インターネット被害から子どもを守る／食育／講演：歩きだすのは自分次第
西丸子小学校PTA	6・1 ~ 9・30	3 143 (3)	親と子のすこやかなくらしのために	子どもの成長に伴う親の関わり／CAP大人ワークショップ／今どきの子ども・金銭感覚
中原小学校PTA	6・28 ~ 1・24	4 227 (2)	めざせ!お母さん力アップ	生と性を考える／少年事件を通して子育てを考える／食育で子育てを楽しむ 他
宮内小学校PTA	6・29 ~ 12・7	7 187 (1)	育ちゆく心とからだ	子どもの不適応行動／食育セミナー／ネットトラブルから子どもを守ろう 他
大戸小学校PTA	7・6 ~ 2・21	3 159 (1)	親子で成長～優しい心と元気な身体～	予防医学・子どもの健康／CAP大人ワークショップ／やる気を引き出すコーチング
下小田中小学校PTA	6・17 ~ 10・6	2 110 (0)	健やかな心と身体を育むために	食育について／子どもへの暴力防止プログラムを学ぶ、CAP大人のワークショップ
新城小学校PTA	6・30 ~ 1・25	4 182 (2)	親子で心も身体もほっこりと!	子どもたちに寄り添って／食育について／正しい姿勢について学ぶ
大谷戸小学校PTA	7・8 ~ 2・1	4 244 (30)	親と子のコミュニケーションを高めよう	子どもの心のコーチングを学ぼう／もっと伝えたい子育ての楽しさ 他
今井小学校PTA	7・1 ~ 9・15	5 103 (1)	子どもの健全な成長を目指して	子ども安全教室／CAP大人のワークショップ／思春期の子どもの心とからだ 他

高津市民館

※参加者数()内は男性

実施団体	開設期間	回数 参加者数	テーマ	学習内容
子母口小学校PTA	7・8 ~ 2・4	4 167 (0)	輝け心と体	子どもの権利ワークショップ(CAP)／いじめなど思春期の問題について 他
橘小学校PTA	6・11 ~ 1・27	5 347 (27)	育てよう!橘っ子の輝く未来を	子どもたちの金銭感覚を身に着けるには／発達障害への理解
末長小学校PTA	7・8 ~ 2・16	4 161 (0)	思春期の子どもについて学ぼう!	命の大切さを伝え、我が子に性が語れる親になる／子どもにお金の教育をするには
新作小学校PTA	6・24 ~ 1・27	3 125 (3)	子どもを守るために	子どもがいる家庭での災害時における対策について家庭で話し合う意義 他

久本小学校PTA	6・22 ~ 11・25	5 354 (5)	子どもたちの安全と安心を考えよう	子どもの権利と大人が子どもを守るコミュニティづくりについて (CAP) 他
坂戸小学校PTA	7・6 ~ 1・25	3 131 (2)	あなたの輝きが子どもを笑顔にする!	自分自身が輝いて生きることがより良い子育てにつながることに ついて 他
高津小学校PTA	7・13 ~ 12・1	3 79 (0)	より安全で楽しい日常に	様々なストレスへの対処/ケータイ・パソコンの使い方~犯罪から身を守る事
久末小学校PTA	7・20 ~ 1・18	3 111 (4)	親子のコミュニケーション・会話を増やそう	親子で考えたいお金の話について/思春期の子どもとどう接していくかについて
下作延小学校PTA	7・16 ~ 1・29	4 151 (11)	育てていこう!生きる力	子どもに金銭感覚を付けさせて友達関係でお金をどう使うかについて 他
東高津小学校PTA	7・8 ~ 2・8	4 213 (6)	考えよう、今、子どものためにできること	子どもの権利と大人が子どもを守るコミュニティづくりについて (CAP) 他
養護学校PTA	7・5 ~ 2・24	3 126 (3)	卒業後の自立に向けて	保護者として就労支援の実態/知的障害者に起こりがちなトラブル 他

宮前市民館

※参加者数 () 内は男性

実施団体	開設期間	回数 参加者数	テーマ	学習内容
西有馬小学校PTA	7・8 ~ 12・3	3 87 (2)	知・徳・体・情の調和のとれた豊かな心を育てる	教頭先生からのお話/子どもたちを取り巻く携帯・インターネットの問題と現状 他
鷺沼小学校PTA	9・13 ~ 12・3	3 157 (0)	深めよう~親子の絆~	僕が思う私が思う家族・学校/携帯の実態/休日の親子のコミュニケーションの持ち方
南野川小学校PTA	7・8 ~ 12・7	3 80 (0)	来るべき思春期に備えて	知ってますか?子どものネット遊び/思春期の子どもとの向き合い方 他
上作延小学校PTA	7・5 ~ 2・7	3 108 (5)	健康な心と体を育てよう	思春期の心とからだについて/CAP/親子のストレスケア
南原小学校PTA	7・8 ~ 11・25	3 64 (0)	親子で作ろう!元気な心と身体	子どもの姿勢が人生を変える/親子の心と身体健康/よき親子関係の築き方
向丘小学校PTA	6・29 ~ 2・22	3 132 (2)	子どもの心と身体を守り育てる	子どもをトラブルから守る携帯教室/子どもの心体を守り育てる子育てとマナー 他
富士見台小学校PTA	7・6 ~ 11・9	3 161 (0)	健やかなる子どもの未来を守ろう	子どもたちの現状を知ろう/心身共に鍛え常に安定した子育てを目指す 他
宮崎台小学校父母と先生の会	7・7 ~ 2・25	5 397 (0)	親子で育む明るい心・笑顔・家庭	母の笑顔が子どもを伸ばす太陽の子育て/子どもの心コーチング/性教育(概要) 他
宮前平小学校PTA	6・21 ~ 11・29	3 77 (1)	親子で一緒にLet's Try	子どもとのより良い関係作り①②/大切な命を救うために
土橋小学校PTA	7・12 ~ 2・14	4 381 (1)	笑顔で育む親子の愛と絆	笑顔で子育て~大切にしたいこと/CAP/笑顔が生まれる食卓/人生山あり谷あり
宮崎小学校PTA	7・6 ~ 2・8	3 133 (3)	子どもと学ぼう生きる力	CAP/子どもの言い分親の言い分~けんかしないで話し合うには 他
西梶ヶ谷小学校PTA	7・4 ~ 12・3	3 70 (0)	自分達の権利とその力について知ろう	選挙を題材に親子で選挙について考える/権利を守る勇気と行動について考える 他
犬蔵小学校PTA	9・14 ~ 2・1	3 111 (1)	見つめよう!親と子の絆	お母さんは心の基地/江戸文化和算に学ぶ江戸の知恵/自分にとっての楽しみは
白幡台小学校PTA	7・9 ~ 11・4	3 102 (0)	子ども達の明るい未来のために私達に出来ること	食育(子どもの成長に与える影響)/犯罪に巻き込まれない携帯の使い方 他

多摩市民館

※参加者数 () 内は男性

実施団体	開設期間	回数 参加者数	テーマ	学習内容
長尾小学校PTA	7・2 ~ 11・16	3 66 (0)	クロスカルチャー!人も心もグローバル	世界を知ろう!多文化共生~シンガポールの生活と子育て~ 他
宿河原小学校PTA	9・28 ~ 2・7	3 107 (2)	子どもたちの明るい未来のために	心と心のトレーニング・みんな違っているけど、みんな一緒に学ぼうよ 他

中野島小学校PTA	7・9 ～ 11・15	2 66 (0)	考えよう!自分で自分を守る方法	ハッキリNO!と言える子に!／子どもの携帯被害を防ぐケータイの安心安全な使い方
東菅小学校PTA	6・17 ～ 2・4	3 153 (3)	親子で始めよう!笑顔と健康な体	食育(子供の栄養と健康)／子供の心と体の発達に大人はどう伝えていくべきか 他
南菅小学校PTA	7・8 ～ 12・1	3 86 (5)	親子の絆を深め子供が笑顔で過ごせる安心な生活	食育を考え、日々の食卓に生かせるように学び、健康な身体作りを目指す 他
西菅小学校PTA	6・14 ～ 2・18	3 170 (10)	親子でふれ愛・友愛・はぐくみ愛	給食を通して食育を考える／子どもといっしょに将来の夢や希望について考えよう 他
菅小学校PTA	6・29 ～ 9・18	3 121 (0)	子どもの健やかな成長のために	かわさき共生・共育プログラムを学ぶ／子どものパソコン、携帯の使い方 他
東生田小学校PTA	7・9 ～ 1・21	4 164 (22)	共に学ぼう生きる力の育て方	食育について学ぶ／親子で学ぶ整理収納／命の尊さ平和の大切さを学ぶ 他
三田小学校PTA	7・8 ～ 2・3	4 122 (1)	子どものやる気を育てよう!	小学校で学ぶ英語って?／心も身体も健康に／子どものやる気を育てよう 他
生田小学校PTA	7・6 ～ 2・1	4 128 (1)	子供の自己防衛、親子の良い関係作り	いじめ、不登校未然防止／子どもへの暴力防止／子どものお金の使い方 他

麻生市民館

※参加者数()内は男性

実施団体	開設期間	回数 参加者数	テーマ	学習内容
麻生小学校PTA	7・2 ～ 12・13	3 220 (0)	子どもをとりまく環境をよくするために	子どもが安心できる居場所作り／子どもとのコミュニケーション能力／性教育について
王禅寺中央小学校PTA	7・6 ～ 10・5	2 62 (2)	子どもが健やかに育つための『力=知識』を手に入れよう	携帯電話の安全教室／CAPおとなのワークショップ
岡上小学校PTA	6・23 ～ 1・24	3 65 (0)	広げよう家族の笑顔	かわさき共生・共育プログラム／どうする?子どもの反抗期 他
柿生小学校PTA	10・1 ～ 12・17	2 86 (0)	大切にしよう みんなの命・自分の命	生命の尊さを知る／性教育
片平小学校PTA	7・13 ～ 1・17	2 95 (0)	子どもにとってより良い生活環境を学ぼう	知っていますか?子どものネットあそび／太陽の子育て・母の笑顔が子どもを伸ばす
金程小学校保護者と教職員の会	7・2 ～ 12・15	3 248 (5)	親子でつくろう ゆたかな心と生きる力	CAP大人ワークショップ／豊かな心で子ども達に伝える心地よい日本語／予防接種
栗木台小学校PTA	9・16 ～ 1・20	2 120 (2)	子どもの成長と上手につきあう	親子で考えるお金の話／思春期の子どもとの関り方
真福寺小学校PTA	7・9 ～ 12・17	2 57 (0)	健康第一・親子で豊かな生活を	子どもの予防接種について／親子で豊かな繋がりを～親が子どもにできること～
千代ヶ丘小学校PTA	11・19 ～ 1・28	2 68 (0)	子どもの安全について考えよう	CAP大人のワークショップ／子どもとのスキンシップ・安定した豊かな心を育てる
長沢小学校PTA	10・18 ～ 1・18	3 105 (2)	子が笑顔で育つには	CAP大人のワークショップ／誕生学／親子でお金と仕事を考える
西生田小学校PTA	7・2 ～ 1・24	3 153 (0)	親として学ぼう～子どもの心と体	思春期について・心の発達と対応／ゲームとのつきあい方／悪い姿勢が体におよぼす影響
はるひ野小中学校PTA	7・5 ～ 9・27	2 111 (0)	心身の健康と親子のあり方	食事の大切さを考え直す／子どものやる気を引き出す親のあり方
東柿生小学校PTA	10・1 ～ 10・14	2 76 (0)	親と子の絆を育てる	親が楽しんで子育てするヒントを学ぶ／お金のしつけ・お金を大切にすることに
南百合丘小学校PTA	7・2 ～ 2・18	2 59 (0)	可能性は無限大・夢のある生活	目標を持って生きる／心身ともに健全なからだ作りを考える
百合丘小学校PTA	7・12 ～ 12・9	2 78 (0)	太陽の子育て・親子で育む健康な心と体	太陽の子育てで子どもが元気になる笑顔マジック／性教育・思春期の子どもへの接し方

Ⅲ 3 (3) 自主グループ家庭教育学級

教育文化会館 親子で楽しくリトミック&音楽鑑賞

主 題：音楽を通して豊かな心、表現する力を高めよう

実施グループ：ポコアポコ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12・16	木	子どもの豊かで可能性あふれる人格形成をめざすことから、幼児期にリトミックに触れる機会を作り子どもの人格形成の基礎づくりをめざす	自己紹介 幼児期の家庭教育について考える	リトミック・ピアノ講師 江幡 友弥、濱田 圭子 高鳥 千果、小池 敦子 川口 さおり、増田 裕子
2	1・20	木		幼児期における親子のふれあいの大切さをリトミックにもある事を学ぶ	
3	2・3	木		リトミックを体験する 音楽について学んだり親子でダンスを楽しむ	
4	10	木		リトミック体験 動物の歩き方や魔法使いになって変身する	
5	17	木		家庭教育について話し合う 学習内容を振り返る	

●開設場所 教育文化会館

●時 間 帯 10:15 ~ 11:30

●対 象 2歳～4歳の子と保護者

●参加者数 38人(男 9人、女 29人)

●延べ人数 142人

●企画委員会 11回

●企画委員 6人

Ⅲ 3 (4) 家庭教育支援チーム

事業名	活動内容	会場
川崎区家庭教育支援チーム	①「平成 22 年度川崎区家庭教育推進事業について」 8月3日(火) 13:30～14:00 参加人数 5人 ②「平成 22 年度川崎区家庭教育推進事業の進捗状況について」 11月9日(火) 13:30～14:00 参加人数 5人 ③「平成 22 年度川崎区家庭教育推進事業の報告について」 3月8日(火) 13:30～14:00 参加人数 5人	教育文化会館
幸区家庭教育支援チーム	①「Family Edu(ファミリー エデュ) [幸区家庭教育支援チーム] 会議」 12月8日(水) 19:00～20:30 参加人数 25人 子どもたちの健全育成を目的とした諸課題について、各中学校区のグループで情報交換及び、意見交換	幸市民館
中原区家庭教育支援チーム	①「PTA等家庭教育学級 情報交換会」 4月28日(水) 10:00～12:00 参加人数 33人 ②「PTA等家庭教育学級 情報交換会」 9月24日(金) 10:00～12:00 参加人数 30人 ③「PTA等家庭教育学級 報告会」 2月17日(木) 10:00～12:00 参加人数 33人	中原市民館
高津区家庭教育支援チーム	①「高津区PTA等家庭教育学級説明会・家庭教育支援チーム会議」 5月8日(土) 10:00～12:00 参加人数 51人 ②「高津区PTA等家庭教育学級報告会・家庭教育支援チーム会議」 3月4日(金) 9:30～12:00 参加人数 28人	高津市民館
宮前区家庭教育支援チーム	①「今年度のPTA等家庭教育学級実施内容に関する情報交換」 5月18日(火) 参加人数 56人 ②「PTA等家庭教育学級の進捗状況に関する情報交換。情報提供」 9月7日(火) 10:00～12:00 参加人数 39人 ③「PTA等家庭教育学級の実施報告、反省、今後の課題、情報交換」 2月24日(木) 10:00～12:00 参加人数 29人	宮前市民館
麻生区家庭教育支援チーム	①「家庭教育支援チーム情報交換会」 10月1日(金) 10:00～12:00 参加人数 35人 金程小の事例発表、中学校区ごとに進捗状況に関する情報交換、全体で意見交換 ②「家庭教育支援チーム情報交換会」 3月1日(火) 9:00～12:00 参加人数 35人 家庭教育学級の実施報告、反省点、今後の課題について情報交換及び意見交換	麻生市民館

Ⅲ 3 (5) 子育て支援啓発事業

事業名	活動内容	会場
幸区子育て支援啓発事業	① 子育て広場の開設・子育て支援情報の発信 0～3歳までの親子が交流するフリースペースを提供し、ミニ企画開催・情報提供を実施 月2回(8月、休館日を除く)全20回 参加者542組1125人 ② 第6回「みんなで子育てフェアさいわい」開催 平成23年2月26日(土)10:00～15:00 参加者720人 主催:幸区こども総合支援ネットワーク会議 みんなで子育てフェア部会 共催:幸区家庭教育推進協議会 幸区内子育て支援機関・団体による地域交流イベント ③ 子育て講演会(講師:助産師 間中 伴子) 平成23年3月8日(火)参加者20組	幸市民館
中原区子育て支援啓発事業	子育て広場の開設、及び情報の提供 ① ふれあい子育て広場 0歳～1歳半までの親子が交流するフリースペース 実施期間:5月～平成23年2月 第2・4水曜の午前中 月2回開催(8月除く) 全16回 参加延べ198組	中原市民館
高津区子育て支援啓発事業	キューピーランド 月1回(4・8・3月除く)第2火曜日 10:00～12:00 計7回 参加者延べ535人 協力 高津市民館保育ボランティア登録者	高津市民館
宮前区子育て支援啓発事業	① 子育て世代が多い宮前区の特徴に着目し、みやまえうえるかむクラスを開催。22年に区内に転入した未就学児のいる家庭を対象に親子体操や地域別情報交換、区内の子育て情報の提供を実施した(宮前市民館6月10日45組、向丘出張所6月17日)19組)延べ参加者213名 ② 未就学児のいる転入者に子育て情報の入った封筒を進呈 ③ 子育てに関するグループのリーフレットを作成・配布した ④ サロンに関するリーフレットを作成・配布した ⑤ ミニ劇場「小さな山神 スズナ姫」を平成23年3月19日開催(来場者148人)し、鑑賞後に宮前市民館家庭・地域教育学級修了者と地域の親子の交流・情報交換・ワークショップをおこなった	宮前市民館 他
多摩区子育て支援啓発事業	子育てひろばの開設と子育て情報の提供 ① 子育てひろば 月2回(4、5、8月、年末や祝日等を除く) ② 外国人の子育てひろば 月1回(8月、年末や祝日等を除く) ③ 子育て情報ひろば 年1回	多摩市民館
麻生区子育て支援啓発事業	① 子育てフリースペース「よち・わく・のび」の開催 原則第1・2水曜日「よちよちっこ・のびのびっこ」、第3・4水曜日「わくわくっこ」10:00～12:00 全37回 参加者557組 延べ1121人 ② 子育てフリースペース拡大版 平成23年2月23日(水)参加者45組 延べ94人	麻生市民館

